

第6次弟子屈町総合計画及び  
人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略  
中学生・高校生アンケート調査結果

弟子屈町

## 【目次】

第1章 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収状況	1
4 グラフ中の表記について	1
5 集計にあたっての留意事項について	1
第2章 調査結果	2
1 回答者の属性	2
問1 性別	2
問2 学年	2
2 居留意向	4
問3 町への郷土愛	4
問4 町の住みよさ	6
問5 将来の居留意向	8
問6 転居したい理由	10
3 卒業後の進路	13
問7 高校卒業後の進路	13
問8 現在希望する仕事（業種）	15
問9 現在希望する就職地	16
問10 町内への就職希望の理由	18
問11 町外への就職希望の理由	21
問12 町外就職希望者のUターン意向	24
問13 Uターンする条件や環境（町外就職希望者）	26
問14 進学希望者のUターン意向	29
問15 Uターンする条件や環境（進学希望者）	31
問18 人口減少対策	34
4 町の取り組み	36
問17 働く場づくりと雇用の促進に向けた取り組み	36
問18 転入者の増加に向けた取り組み	39
問19 少子化の歯止めに向けた取り組み	42
問20 求める結婚支援策	45
問21 町政等の満足度と重要度	47
【環境】について	47
【産業活性化について】	51
【暮らしについて】	55
【教育について】	59
■ 町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析	61
問22 将来の弟子屈町のイメージ	72

5 町への意見や希望 .....	75
問 23 自由意見.....	75
資料 調査票.....	76

# 第1章 調査概要

## 1 調査の目的

この調査は、令和3年度から新たに始まる（仮称）第6次総合計画の策定のため、弟子屈町のまちづくりや施策、行政運営等に対する中学生及び高校生の意向を把握するために実施しました。

## 2 調査の方法

- ◆調査地域 : 弟子屈町全域
- ◆調査対象 : 令和2年12月1日時点で、弟子屈町の中学校と高等学校に通学する、中学生と高校生を対象
- ◆調査方法 : 教員による配布・回収
- ◆調査時期 : 令和3年1月18日～1月28日

## 3 回収状況

- ◇配布数 : 226票 ※内訳（弟子屈中学校135人、川湯中学校15人、弟子屈高校76人）
- ◇有効回収数 : 202票
- ◇有効回収率 : 89.4%

## 4 グラフ中の表記について

- ◇グラフの基数は、特に表記のない限り総数（n=202）です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。
- ◇各設問において、次の略称を使用しています。
  - SA：シングルアンサー（一つだけ選択回答）
  - OLA：リミテッドアンサー（○以内の選択回答）
  - MA：マルチアンサー（すべての選択回答）

## 5 集計にあたっての留意事項について

- ◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ◇複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ◇図表中の「n」（net）とは、その設問への回答者数を表します。小数点以下第1位まで示した数値は、回答比率（%）です。
- ◇選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いています。
- ◇クロス集計表において、色分け表記の区分は、以下のとおりとします。
  - 属性内での1位： **XX.X**      属性内での2位： **XX.X**
  - ※ただし、属性内での1位が複数項目ある場合は、属性内での2位には色分けしていません。
  - ※また、属性内での1位が単数項目であり、かつ属性内での2位が複数項目ある場合は、属性内での2位にはすべて色分けしています。

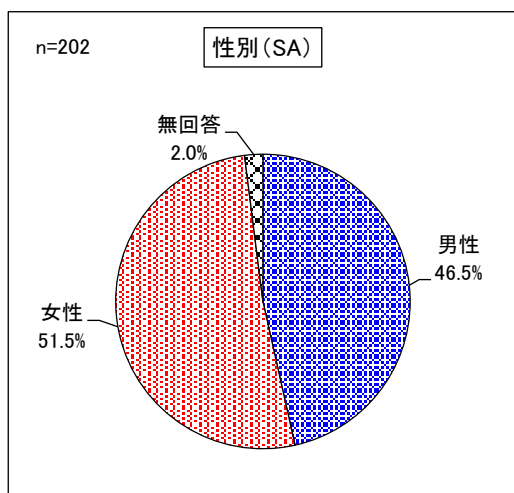
## 第2章 調査結果

### 1 回答者の属性

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 【全体】

回答者の性別は、「男性」が46.5%（94人）、「女性」が51.5%（104人）となっています。なお、「無回答」は2.0%（4人）でした。

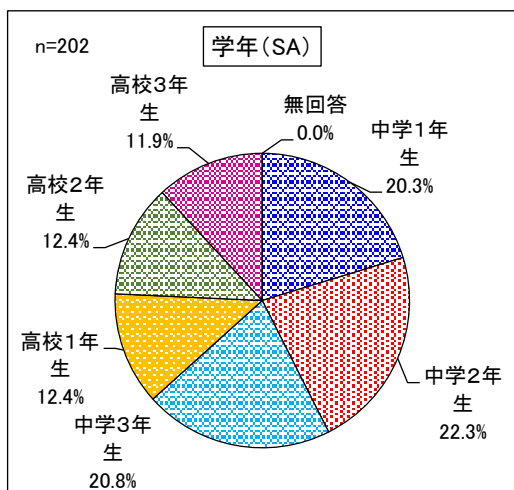


問2 あなたの学年をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 【全体】

回答者の学年は、「中学1年生」が20.3%（41人）、「中学2年生」が22.3%（45人）、「中学3年生」が20.8%（42人）、「高校1年生」が12.4%（25人）、「高校2年生」が12.4%（25人）、「高校3年生」が11.9%（24人）となっています。

なお、「無回答」は0.0%でした。



[参考：学年ごとの性別] (%)

	男性	女性	無回答
全体 (n=202)	46.5	51.5	2.0
中学1年生 (n=41)	46.3	51.2	2.4
中学2年生 (n=45)	44.4	51.1	4.4
中学3年生 (n=42)	54.8	42.9	2.4
高校1年生 (n=25)	44.0	56.0	0.0
高校2年生 (n=25)	60.0	40.0	0.0
高校3年生 (n=24)	25.0	75.0	0.0

[参考：性別ごとの学年] (%)

	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	高校 1年生	高校 2年生	高校 3年生	無回答
全体 (n=202)	20.3	22.3	20.8	12.4	12.4	11.9	0.0
男性 (n=94)	20.2	21.3	24.5	11.7	16.0	6.4	0.0
女性 (n=104)	20.2	22.1	17.3	13.5	9.6	17.3	0.0
無回答 (n=4)	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 2 居留意向

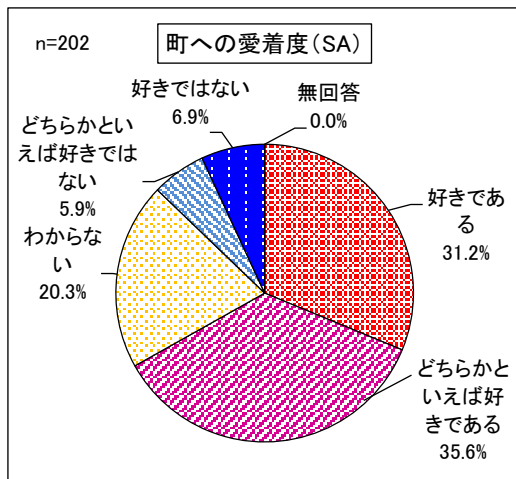
問3 あなたは、弟子屈町が好きですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

### 【全体】

本町への愛着度について、「好きである」が31.2%、「どちらかといえば好きである」が35.6%となっており、「好きである」と「どちらかといえば好きである」を合わせた“好きである”は66.8%と、約3人に2人が“好きである”と回答する結果となっています。

一方、「どちらかといえば好きでない」は5.9%、「好きでない」は6.9%となっており、「どちらかといえば好きでない」と「好きでない」を合わせた“好きでない”は12.8%となっています。

なお、「分からない」は20.3%でした。

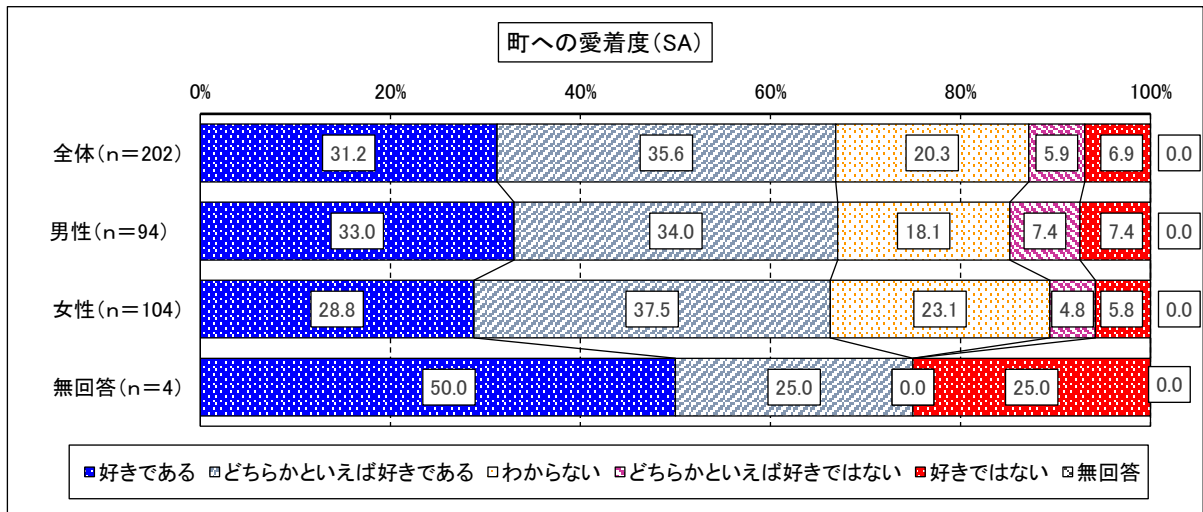


### 【属性別】

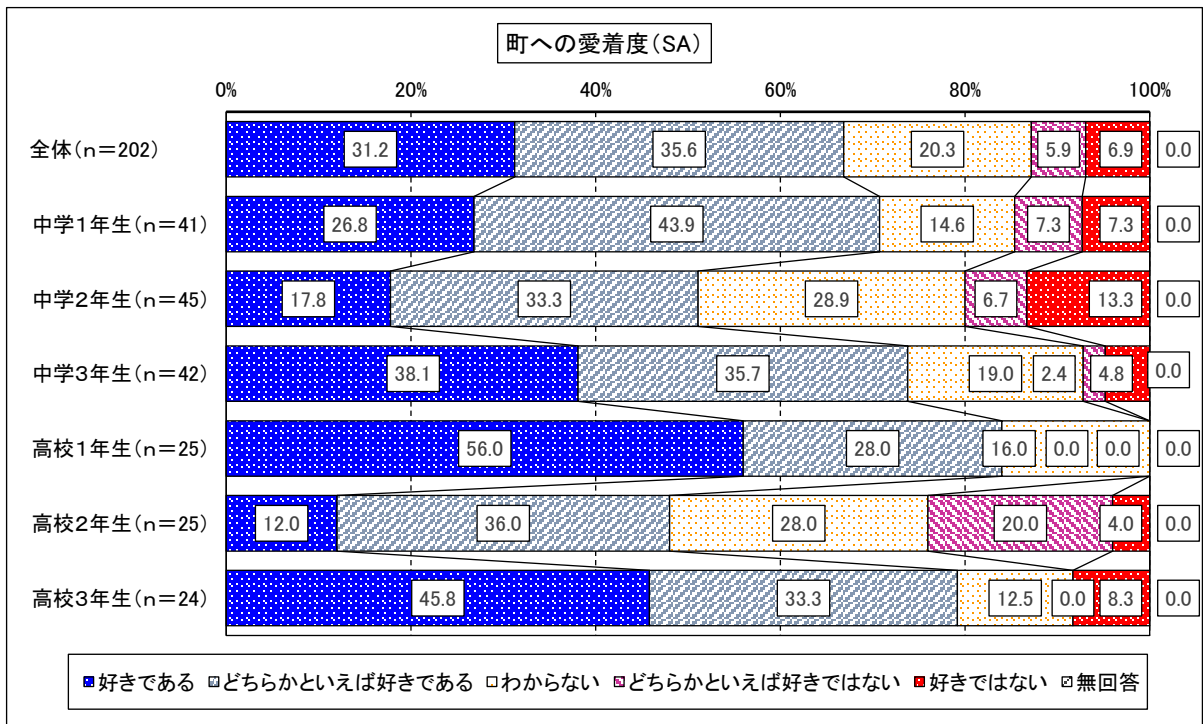
性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

学年別では、「高校1年生」の“好きである”への回答割合が高くなっていますが、その一方で、「中学2年生」及び「高校2年生」の“好きである”への回答割合が、他の学年に比べ低い結果となっています。

〔性別〕



〔学年別〕





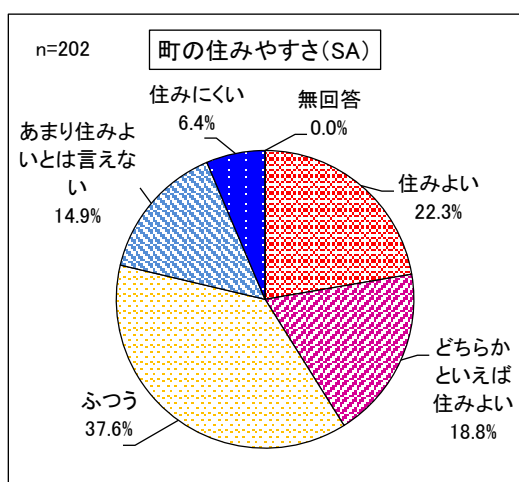
問4 弟子屈町はあなたにとって住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**【全体】**

本町の住みよさについて、「住みよい」が 22.3%、「どちらかといえば住みよい」が 18.8% となっており、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた“住みよい”は 41.1% と、約 4 割の結果となっています。

一方、「あまり住みよいとは言えない」は 14.9%、「住みにくい」は 6.4% となっており、「あまり住みよいとは言えない」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”は 21.3% となっており、約 5 人に 1 人が“住みにくい”と回答する結果となっています。

なお、「ふつう」は 37.6% でした。

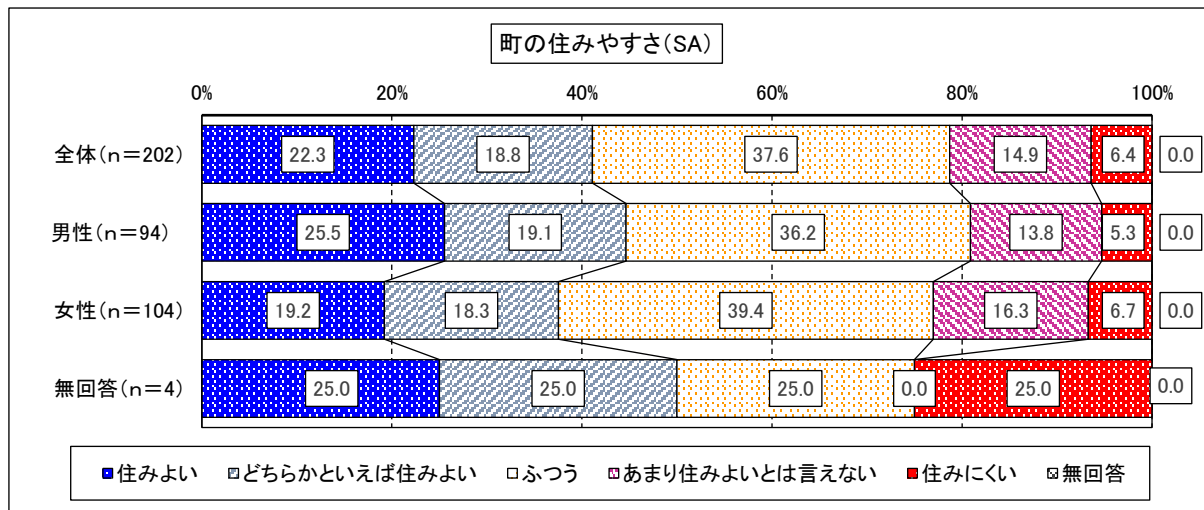


**【属性別】**

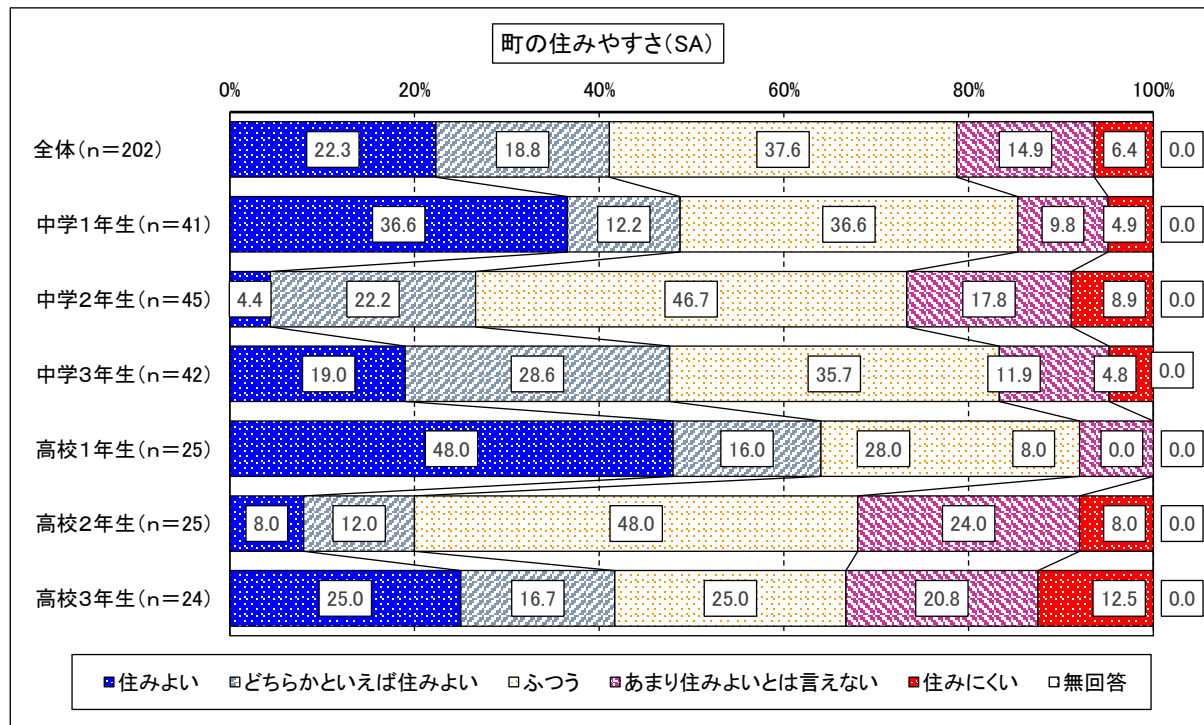
性別では、「男性」に比べ「女性」の“住みよい”の回答割合が低くなっています。

学年別では、「高校1年生」の“住みよい”への回答割合が高くなっていますが、その一方で、「中学2年生」及び「高校2年生」の“住みよい”への回答割合が、他の学年に比べ低い結果となっています。

〔性別〕



〔学年別〕

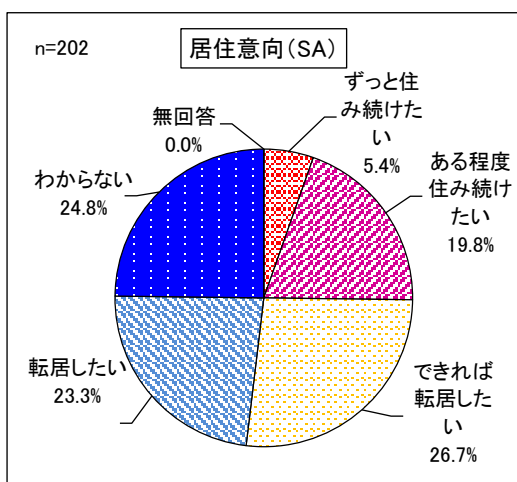


問5 あなたは将来も弟子屈町に住みたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**【全体】**

本町への居留意向について、「ずっと住みたい」が5.4%、「ある程度住みたい」が19.8%となっており、「ずっと住みたい」と「ある程度住みたい」を合わせた“住みたい”は25.2%と、約4人に1人の回答結果となっています。

一方、「できれば転居したい」は26.7%、「転居したい」は23.3%となっており、「できれば転居したい」と「転居したい」を合わせた“転居したい”は50.0%となっており、回答者の半数が転居したい意向となっています。

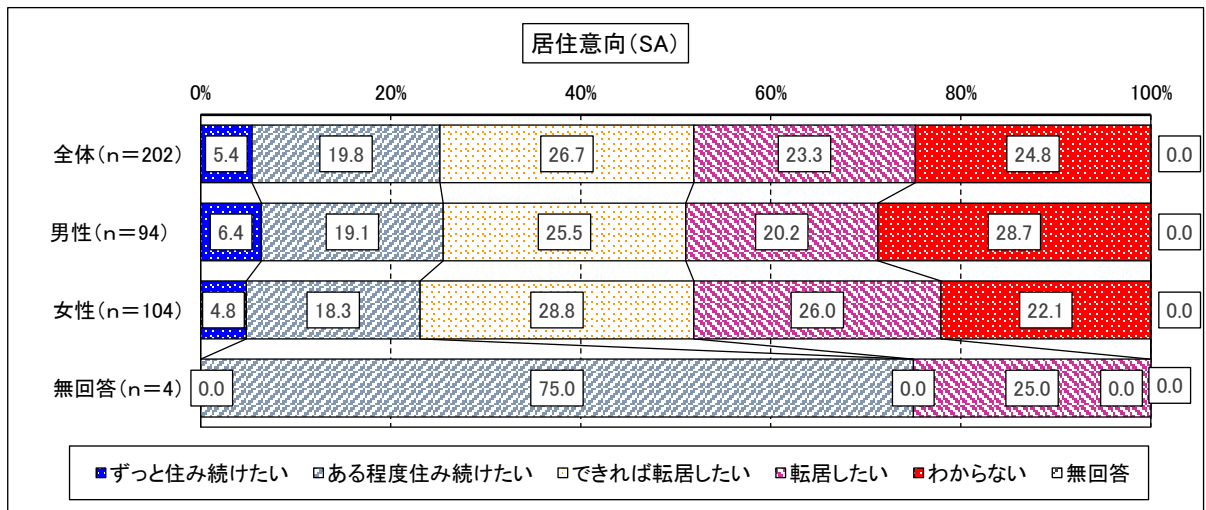


**【属性別】**

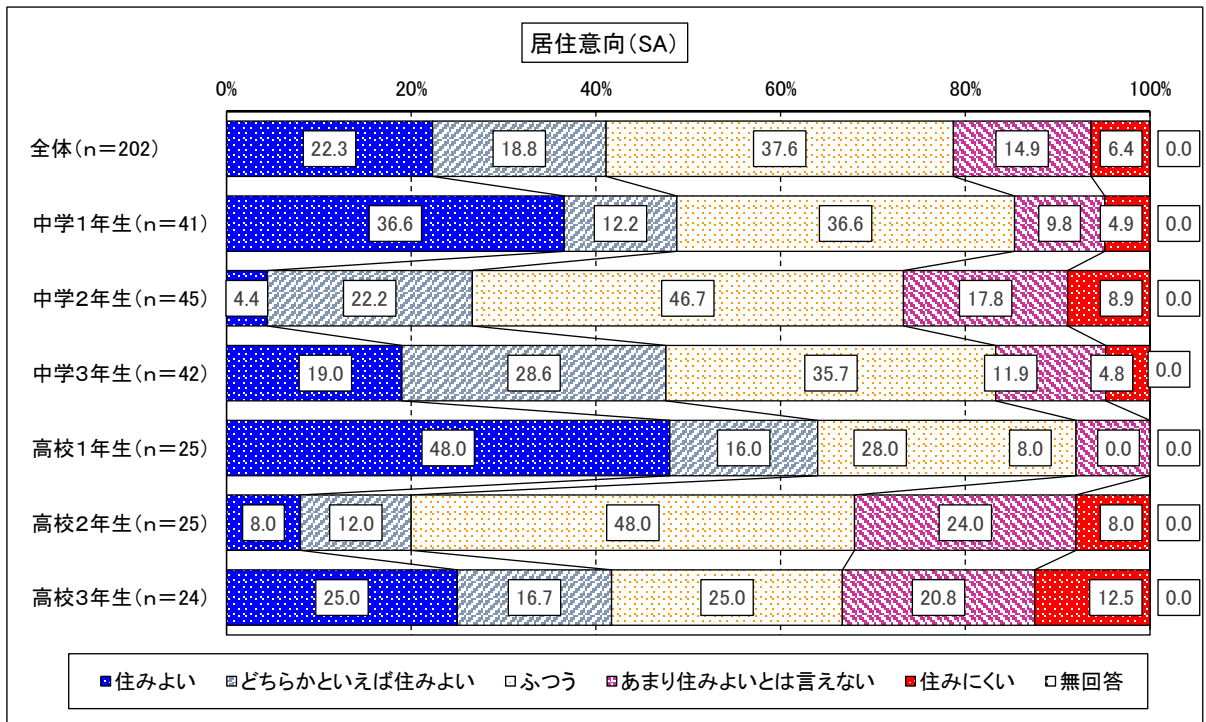
性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

学年別では、「高校1年生」の“住みたい”への回答割合が高くなっていますが、その一方で、「中学2年生」及び「高校2年生」の“住みたい”への回答割合が、他の学年に比べ低い結果となっています。

〔性別〕



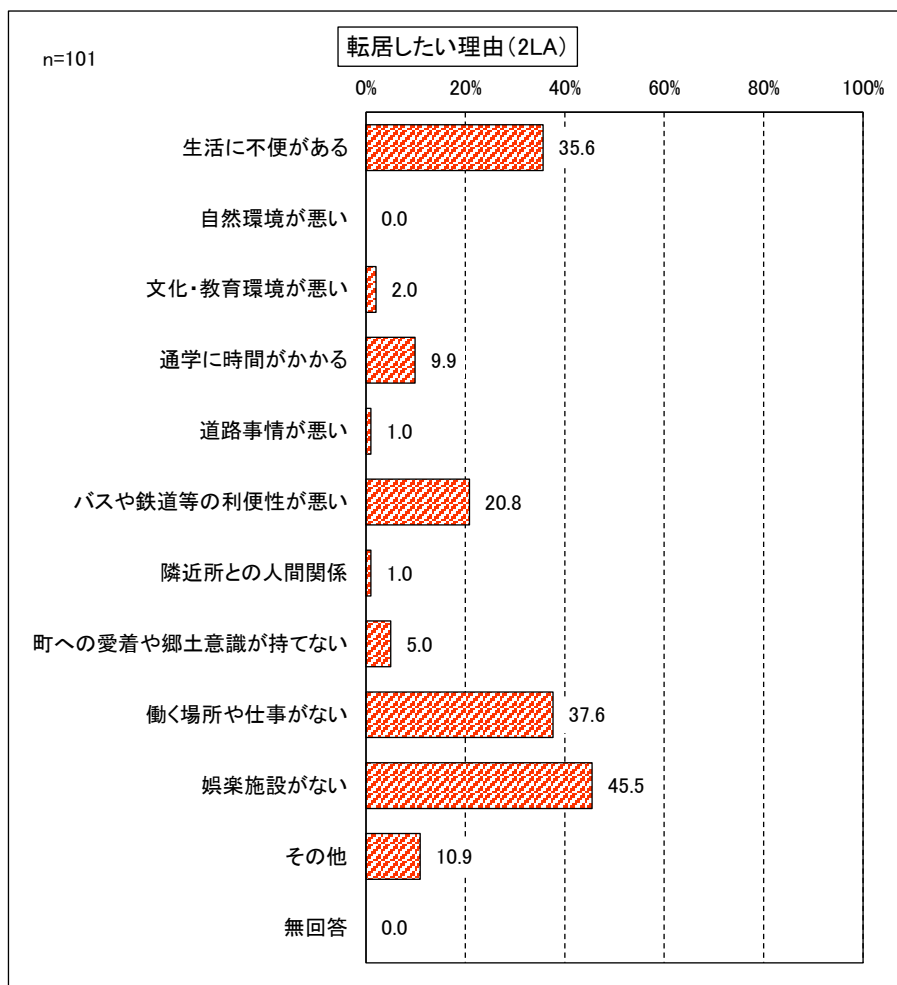
〔学年別〕



問6 問5で「3. できれば転居したい」または「4. 転居したい」と答えた方におたずねします。転居したい理由は何ですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

**【全体】**

問5で、「できれば転居したい」または「転居したい」を合わせた“転居したい”と回答した方（101人）に、転居したい理由をお聞きしたところ、「娯楽施設がない」への回答割合が最も高く45.5%となっており、次いで、「働く場所や仕事がない」が37.6%、「生活に不便がある」が35.6%、「バスや鉄道等の利便性が悪い」が20.8%と続いています。



**【属性別】**

性別では、「男性」に比べ「女性」の「働く場所や仕事がない」への回答割合が高くなっています。また、「女性」に比べ「男性」の「娯楽施設がない」への回答割合が高くなっています。学年別では、「中学2年生」の「娯楽施設がない」への回答割合が高くなっています。

〔性別〕

	生活に不便がある	自然環境が悪い	文化・教育環境が悪い	通学にかかる時間がかかる	道路事情が悪い	バスや鉄道等の利便性が悪い	隣近所との人間関係	町への愛着や郷土意識が持てない	働く場所や仕事がない
全体 (n=101)	35.6	0.0	2.0	9.9	1.0	20.8	1.0	5.0	<b>37.6</b>
男性 (n=43)	<b>32.6</b>	0.0	2.3	9.3	0.0	11.6	0.0	9.3	25.6
女性 (n=57)	38.6	0.0	1.8	10.5	1.8	26.3	1.8	1.8	<b>47.4</b>
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

	娯楽施設がない	その他	無回答
全体 (n=101)	<b>45.5</b>	10.9	0.0
男性 (n=43)	<b>51.2</b>	14.0	0.0
女性 (n=57)	<b>40.4</b>	8.8	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	生活に不便がある	自然環境が悪い	文化・教育環境が悪い	通学にかかる時間がかかる	道路事情が悪い	バスや鉄道等の利便性が悪い	隣近所との人間関係	町への愛着や郷土意識が持てない	働く場所や仕事がない
全体 (n=101)	35.6	0.0	2.0	9.9	1.0	20.8	1.0	5.0	<b>37.6</b>
中学1年生 (n=19)	42.1	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	47.4
中学2年生 (n=27)	<b>29.6</b>	0.0	3.7	14.8	0.0	25.9	0.0	3.7	22.2
中学3年生 (n=19)	26.3	0.0	0.0	10.5	0.0	21.1	0.0	0.0	42.1
高校1年生 (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	80.0
高校2年生 (n=18)	44.4	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	11.1	38.9
高校3年生 (n=13)	46.2	0.0	0.0	7.7	7.7	46.2	7.7	0.0	30.8

	娯楽施設がない	その他	無回答
全体 (n=101)	<b>45.5</b>	10.9	0.0
中学1年生 (n=19)	26.3	21.1	0.0
中学2年生 (n=27)	<b>55.6</b>	7.4	0.0
中学3年生 (n=19)	47.4	26.3	0.0
高校1年生 (n=5)	20.0	0.0	0.0
高校2年生 (n=18)	55.6	0.0	0.0
高校3年生 (n=13)	46.2	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

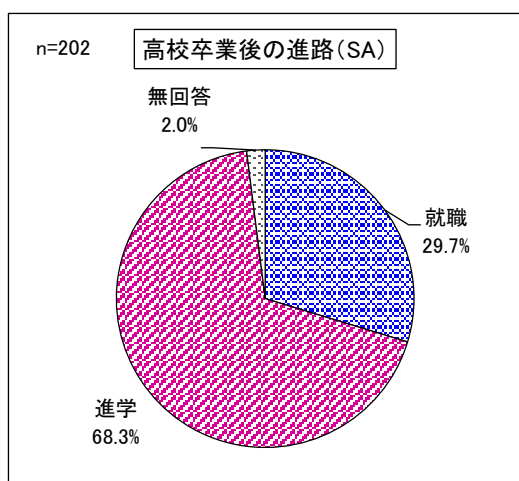
### 3 卒業後の進路

問7 現段階での高校卒業後の進路は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 【全体】

現段階での高校卒業後の進路について、「就職」が29.7%、「進学」が68.3%となっています。

なお、「無回答」は2.0%となっています。



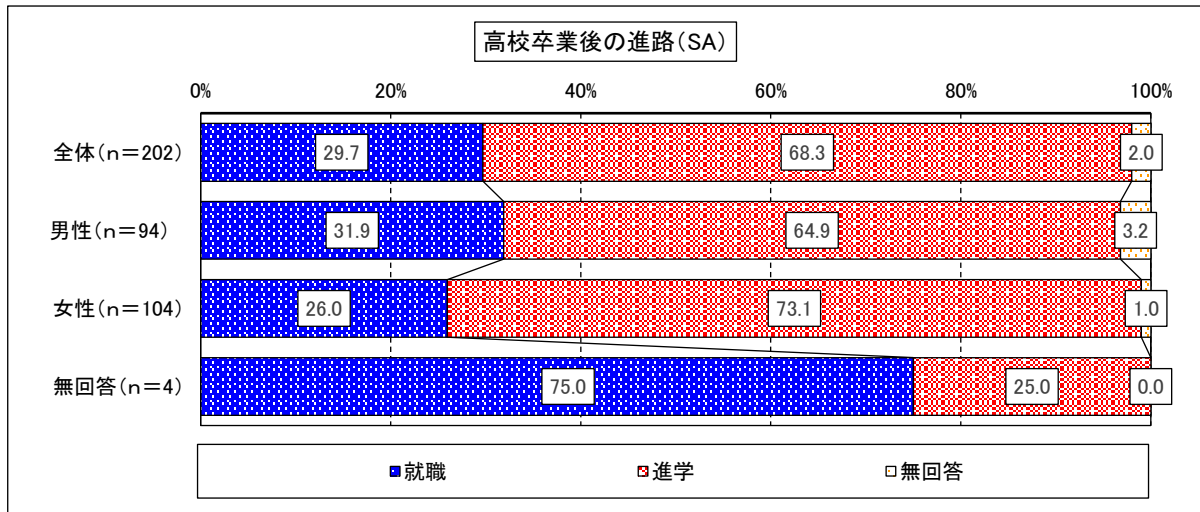
#### 【属性別】

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

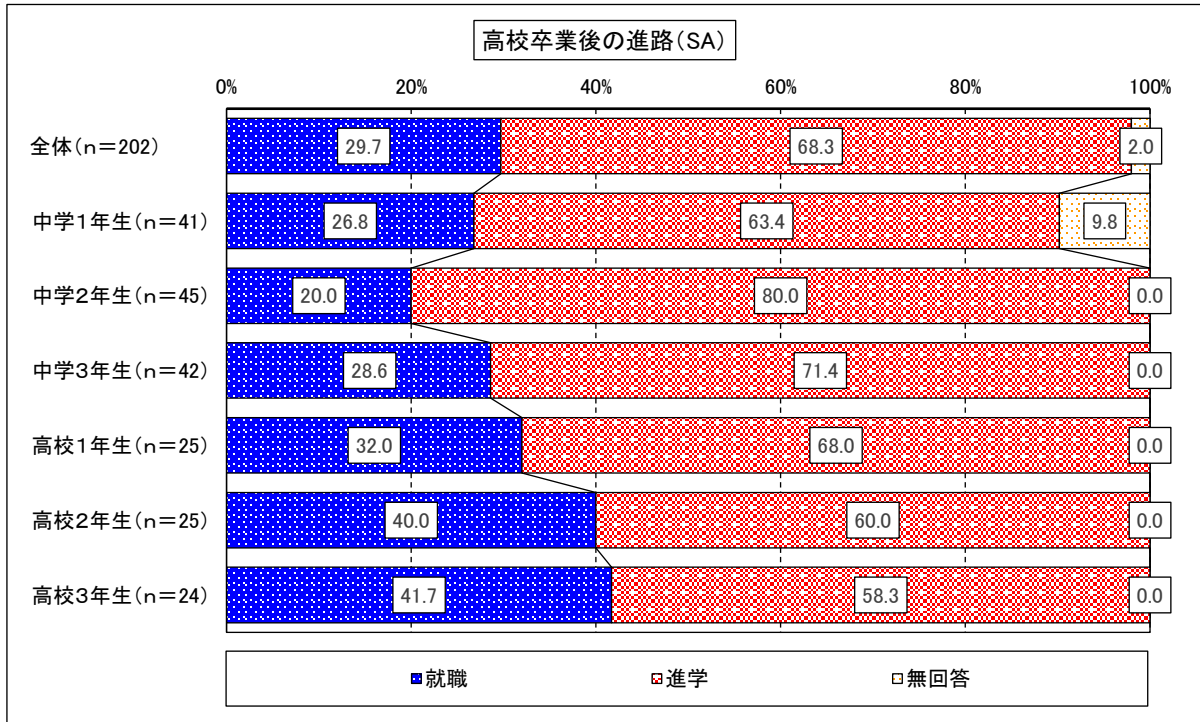
学年別では、学年が上がるにつれ「就職」への回答割合が高くなる結果となっています。



〔性別〕



〔学年別〕



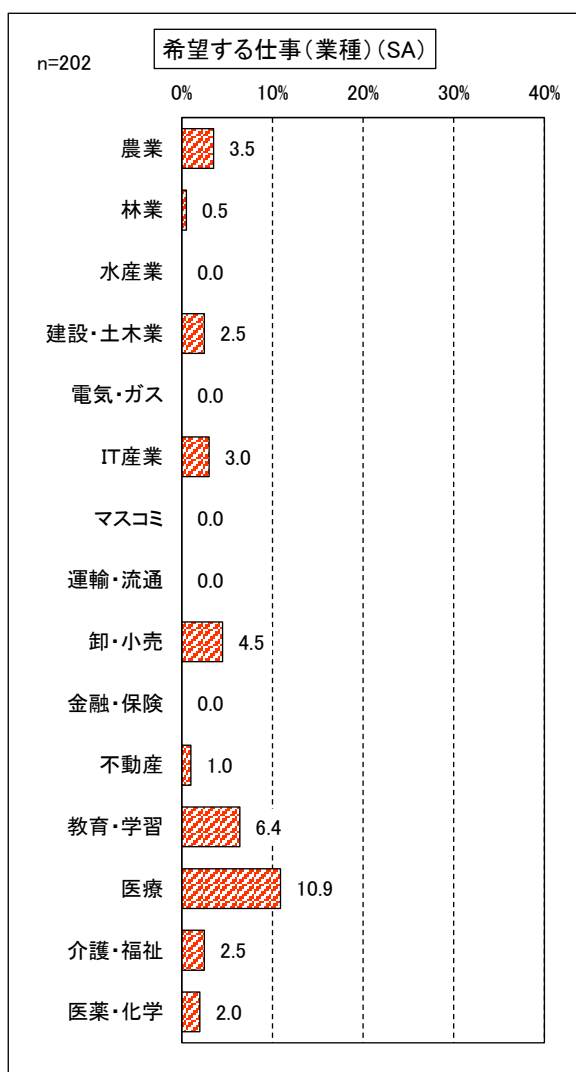
問8 あなたが現段階で希望する仕事（業種）は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

現段階で希望する仕事（業種）について、「その他」への回答割合が最も高くなっていますが、「その他」を除き、上位の仕事（業種）は以下のとおりです。

	取り組み項目	回答割合 (%)
1	医療	10.9
2	地方公務員	7.9
3	教育・学習	6.4
4	卸・小売、宿泊・飲食サービス、生活関連サービス（理美容等）	4.5
5	農業	3.5

「医療」への回答割合が10.9%と最も高くなっており、次いで、「地方公務員」が7.9%、「教育・学習」が6.4%、「卸・小売」、「宿泊・飲食サービス」、及び「生活関連サービス（理美容等）」と続いています。

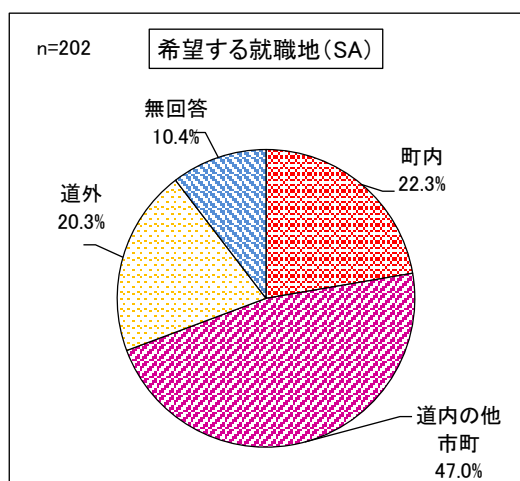


- 問9 あなたが現段階で希望する就職地はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
 ※はっきりと決まっていない場合もありますが、現時点で希望する場所を選んでください。  
 ※「2. 道内の他市町」及び「3. 道外」を選択された方は、回答欄に市町名または都道府県名を記入してください。

**【全体】**

現段階で希望する就職地について、「町内」が22.3%、「道内の他市町」が47.0%、「道外」が20.3%となっています。

なお、「無回答」は10.4%でした。



**【属性別】**

性別では、「男性」に比べ「女性」の「道内の他市町」への回答傾向が高い結果となっています。

学年別では、「高校1年生」の「町内」への回答割合が高くなっていますが、高校生は、学年が上がるにつれ「道内の他市町」への回答割合が高くなる結果となっています。

**【自由記入（希望する就職地）】**

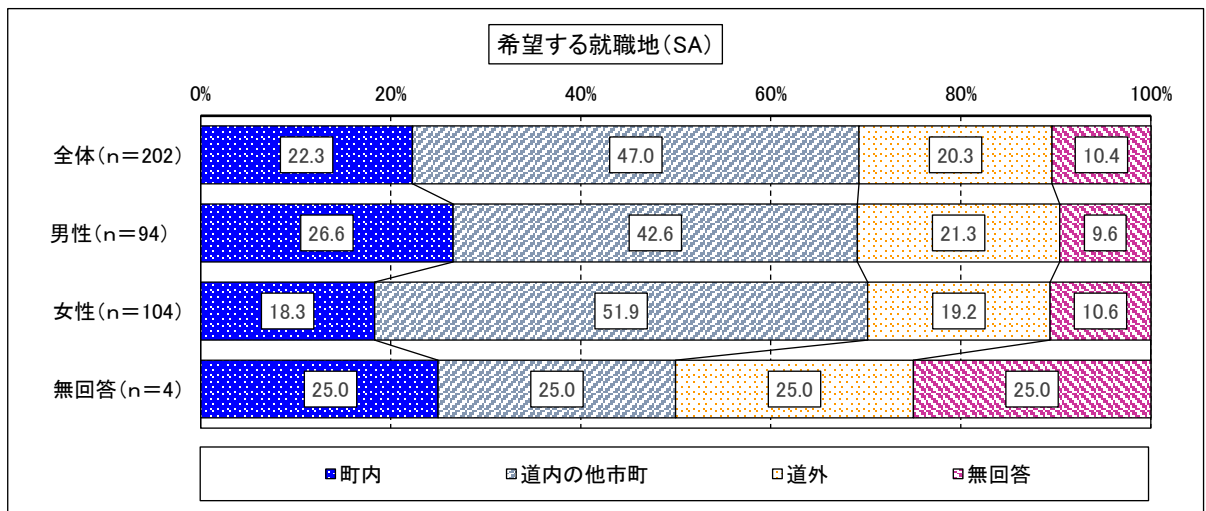
**〔道内の他市町〕**

自治体名	件数
札幌市	47
釧路市	20
帯広市	3
会津若松市	1
美幌町	1
北見市	1
知床	1
富良野市	1
中標津町	1
標茶町	1
未定	1

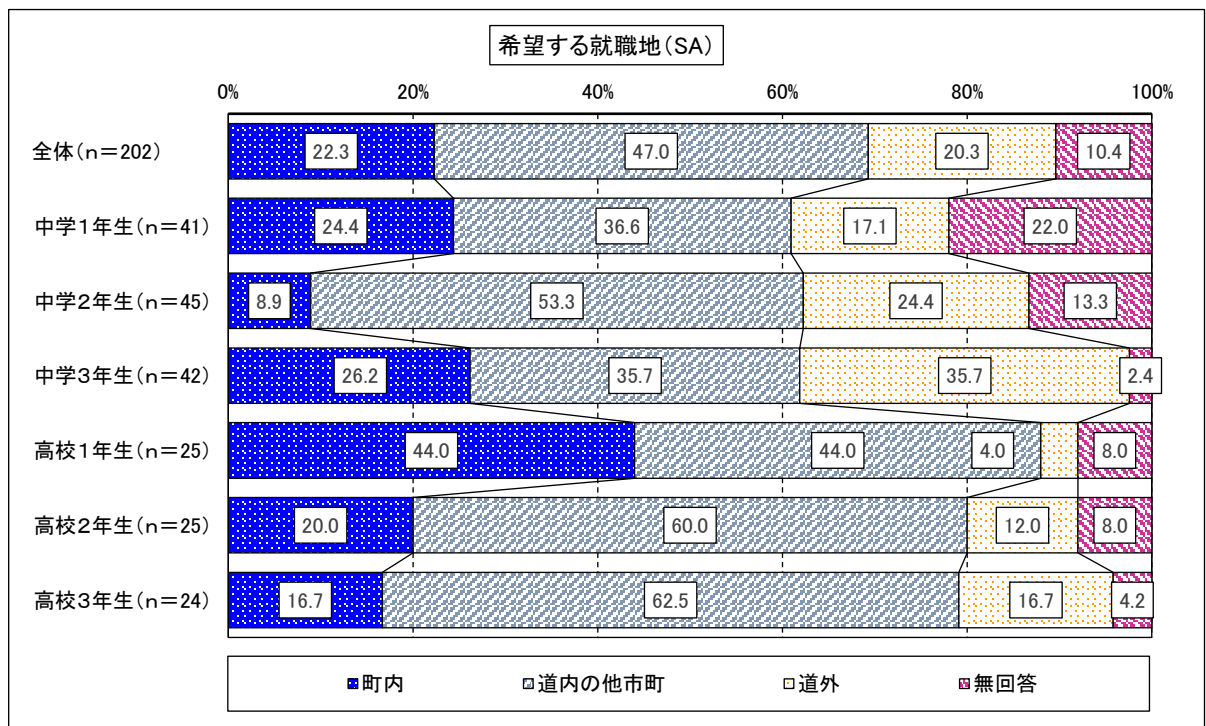
**〔道外〕**

自治体名	件数
東京都	20
大阪府	3
京都府	2
神奈川県	1
奈良県	1
福島県	1
山梨県	1
アメリカ、北アメリカ	1
フィンランド	1
わからない	1

〔性別〕



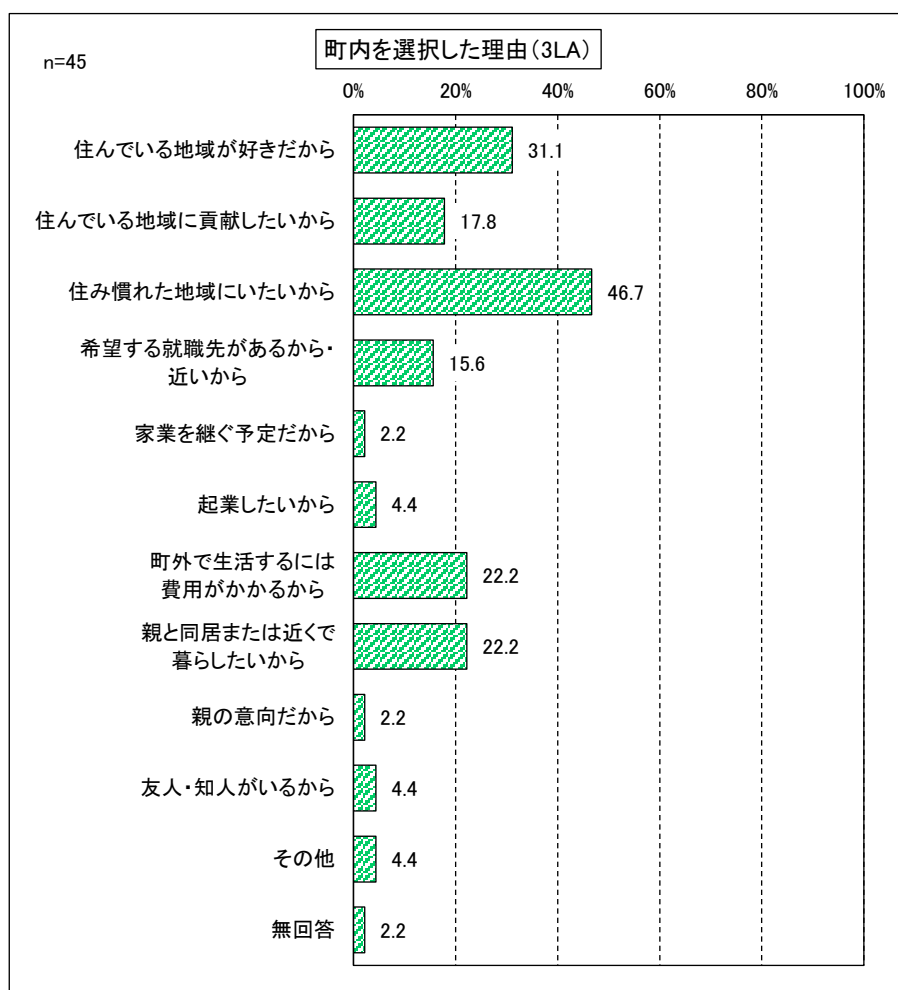
〔学年別〕



問10 問9で「1. 町内」を選択した方におたずねします。「1. 町内」を選択した理由は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

**【全体】**

現段階で希望する就職地を「町内」と回答した方（45人）に理由をお聞きしたところ、「住み慣れた地域にいたいから」への回答割合が46.7%と最も高くなっており、次いで、「住んでいる地域が好きだから」が31.1%、「町外で生活するには費用がかかるから」及び「親と同居または近くで暮らしたいから」が22.2%、「住んでいる地域に貢献したいから」17.8%、「希望する就職先があるから・近いから」が15.6%と続いています。



**【属性別】**

性別では、「男性」に比べ「女性」の「住んでいる地域が好きだから」への回答傾向が高い結果となっています。（※但し、「女性」の回答割合は参考値。）

学年別では、各学年ともに参考値ですが、「住んでいる地域が好きだから」及び「住み慣れた地域にいたいから」への回答傾向が高い結果となっています。

〔性別〕

	住んでいる地域が好きだから	住んでいる地域に貢献したいから	住み慣れた地域にいた いから	希望する就職先がある から・近いから	家業を継ぐ予定だから	起業したいから	町外で生活するには費 用がかかるから	親と同居または近くで 暮らしたいから	親の意向だから
全体 (n=45)	31.1	17.8	46.7	15.6	2.2	4.4	22.2	22.2	2.2
男性 (n=25)	24.0	20.0	48.0	16.0	4.0	8.0	8.0	12.0	0.0
女性 (n=19)	36.8	15.8	42.1	15.8	0.0	0.0	42.1	31.6	5.3
無回答 (n=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

	友人・知人がいる から	その他	無 回 答
全体 (n=45)	4.4	4.4	2.2
男性 (n=25)	4.0	4.0	4.0
女性 (n=19)	5.3	5.3	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔学年別〕

	住んでいる地域が好きだから	住んでいる地域に貢献したいから	住み慣れた地域にいた いから	希望する就職先がある から・近いから	家業を継ぐ予定だから	起業したいから	町外で生活するには費 用がかかるから	親と同居または近くで 暮らしたいから	親の意向だから
全体 (n=45)	31.1	17.8	46.7	15.6	2.2	4.4	22.2	22.2	2.2
中学1年生 (n=10)	20.0	10.0	60.0	20.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0
中学2年生 (n=4)	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
中学3年生 (n=11)	9.1	9.1	54.5	0.0	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0
高校1年生 (n=11)	54.5	36.4	36.4	9.1	0.0	9.1	27.3	18.2	0.0
高校2年生 (n=5)	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
高校3年生 (n=4)	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

	友人・知人がい るから	その他	無回答
全体 (n=45)	4.4	4.4	2.2
中学1年生 (n=10)	10.0	10.0	10.0
中学2年生 (n=4)	0.0	0.0	0.0
中学3年生 (n=11)	0.0	9.1	0.0
高校1年生 (n=11)	9.1	0.0	0.0
高校2年生 (n=5)	0.0	0.0	0.0
高校3年生 (n=4)	0.0	0.0	0.0

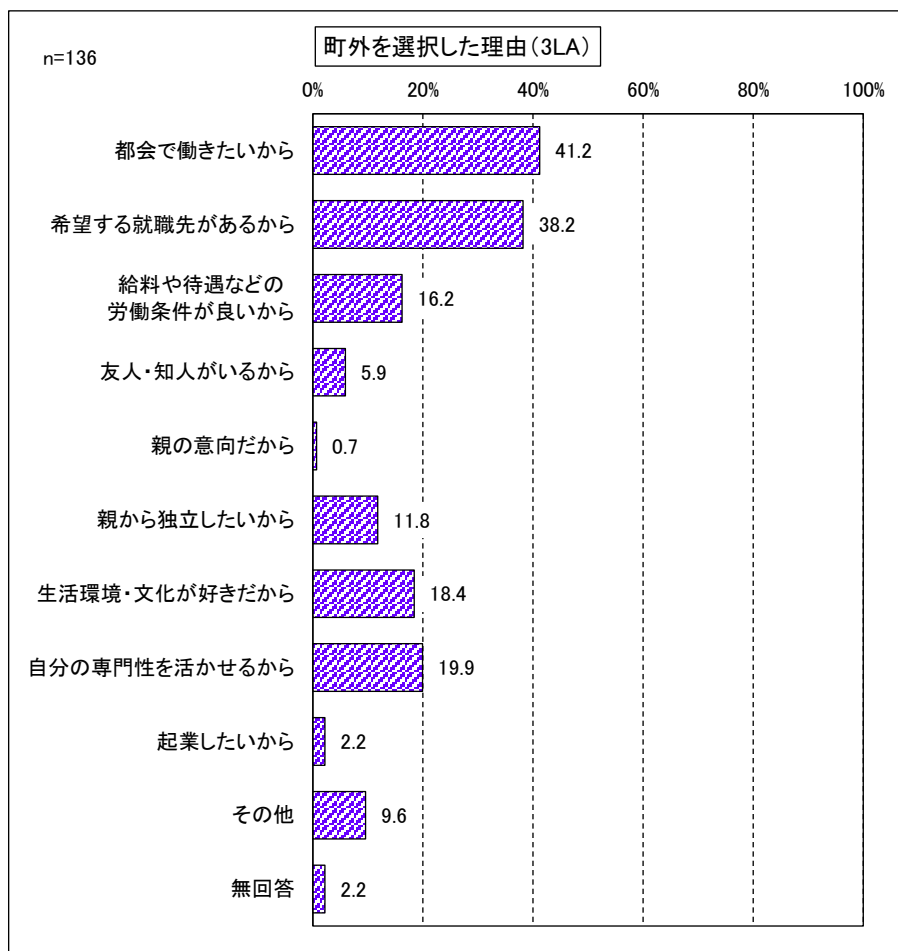
※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 11 問 9 で「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した方におたずねします。「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した理由は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

**【全体】**

現段階で希望する就職地を「道内の他市町」または「道外」と回答した方（136人）に理由をお聞きしたところ、「都会で働きたいから」への回答割合が41.2%と最も高くなっており、次いで、「希望する就職先があるから」が38.2%、「自分の専門性を活かせるから」が19.9%、「生活環境・文化が好きだから」が18.4%、「給料や待遇などの労働条件が良いから」が16.2%と続いています。



**【属性別】**

性別では、「男性」に比べ「女性」の「希望する就職先があるから」への回答傾向が高い結果となっています。

学年別では、「都会で働きたいから」及び「希望する就職先があるから」への回答傾向が高い結果となっています。



〔性別〕

	都会で働きたいから	希望する就職先があるから	給料や待遇などの労働条件が良いから	友人・知人がいるから	親の意向だから	親から独立したいから	生活環境・文化が好きだから	自分の専門性を活かせるから	起業したいから
全体 (n=136)	41.2	38.2	16.2	5.9	0.7	11.8	18.4	19.9	2.2
男性 (n=60)	43.3	30.0	13.3	5.0	1.7	10.0	15.0	15.0	5.0
女性 (n=74)	40.5	44.6	17.6	6.8	0.0	13.5	21.6	24.3	0.0
無回答 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=136)	9.6	2.2
男性 (n=60)	10.0	3.3
女性 (n=74)	9.5	1.4
無回答 (n=2)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔学年別〕

	都会で働きたいから	希望する就職先があるから	給料や待遇などの労働条件が良いから	友人・知人がいるから	親の意向だから	親から独立したいから	生活環境・文化が好きだから	自分の専門性を活かせるから	起業したいから
全体 (n=136)	41.2	38.2	16.2	5.9	0.7	11.8	18.4	19.9	2.2
中学1年生 (n=22)	45.5	13.6	22.7	0.0	0.0	9.1	22.7	27.3	0.0
中学2年生 (n=35)	54.3	25.7	14.3	2.9	2.9	11.4	5.7	22.9	2.9
中学3年生 (n=30)	36.7	53.3	13.3	13.3	0.0	13.3	23.3	16.7	3.3
高校1年生 (n=12)	25.0	83.3	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	33.3	0.0
高校2年生 (n=18)	50.0	33.3	11.1	5.6	0.0	16.7	27.8	11.1	5.6
高校3年生 (n=19)	21.1	42.1	21.1	10.5	0.0	10.5	26.3	10.5	0.0

	その他	無回答
全体 (n=136)	9.6	2.2
中学1年生 (n=22)	9.1	9.1
中学2年生 (n=35)	14.3	0.0
中学3年生 (n=30)	10.0	0.0
高校1年生 (n=12)	0.0	0.0
高校2年生 (n=18)	0.0	5.6
高校3年生 (n=19)	15.8	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

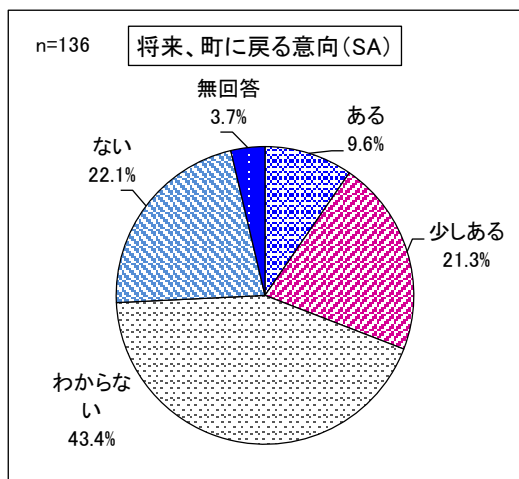
※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問12 問9で「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した方におたずねします。将来、弟子屈町に戻りたいという思いはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**【全体】**

現段階で希望する就職地を「道内の他市町」または「道外」と回答した方（136人）に、将来、弟子屈町に戻る意向をお聞きしたところ、「ある」が9.6%、「少しある」が21.3%、「ない」が22.1%、「わからない」が43.4%となっています。

「ある」と「少しある」を合わせた割合は30.9%と約3割となっています。

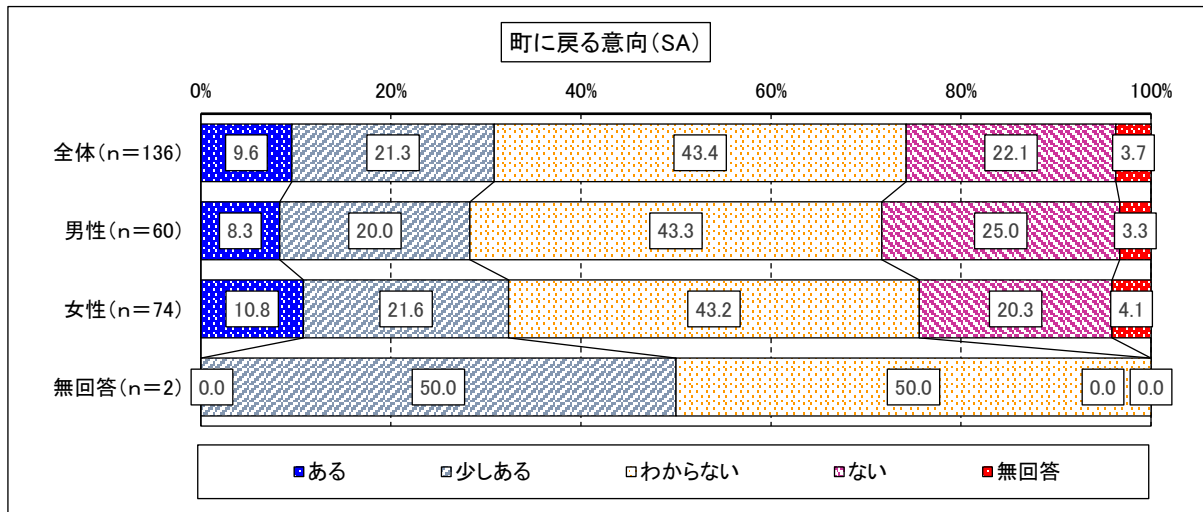


**【属性別】**

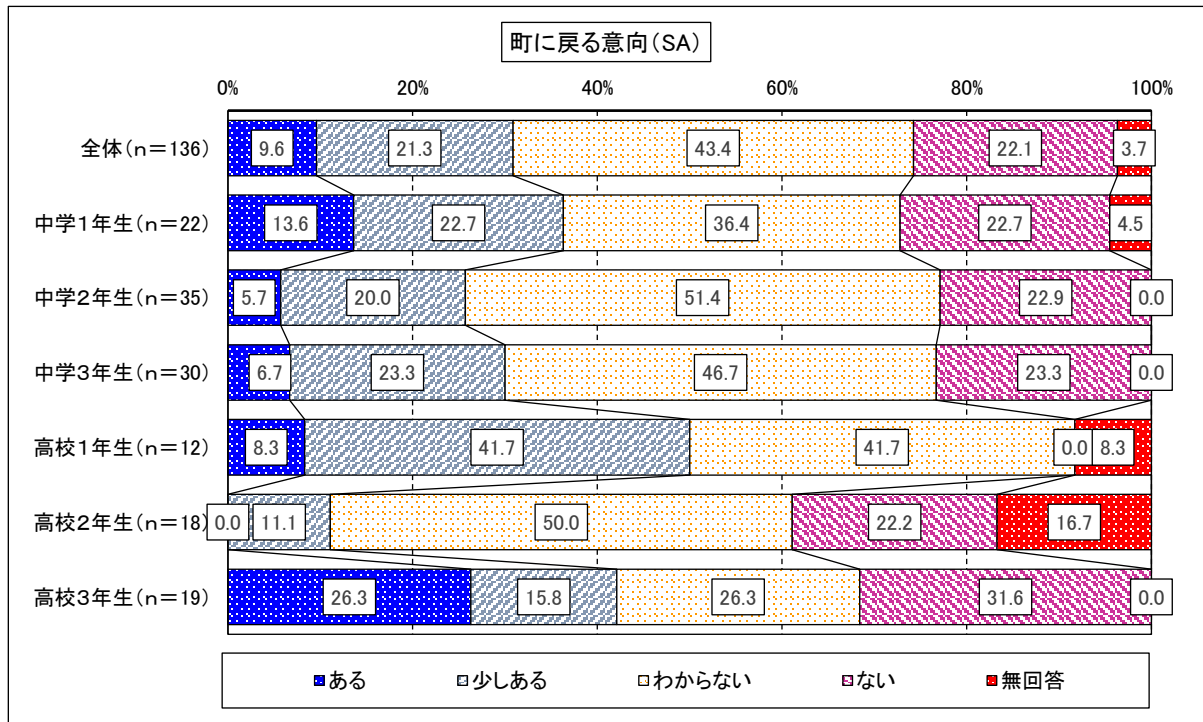
性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

学年別では、「高校2年生」の将来、町に戻る意向への回答割合が非常に低い結果となっています。

〔性別〕



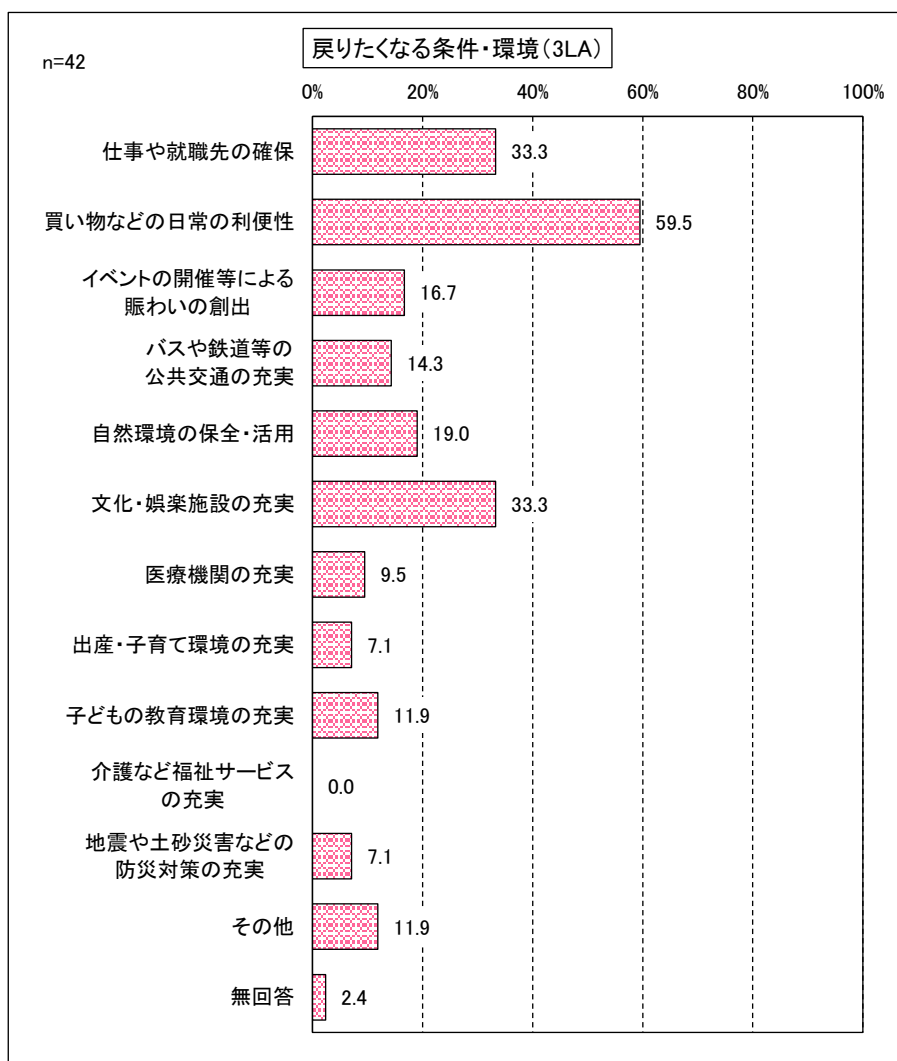
〔学年別〕



問13 問12で「1. ある」または「2. 少しある」を選択した方におたずねします。どのような条件・環境が整えば、より弟子屈町に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

**【全体】**

将来、弟子屈町に戻る意向が、「ある」及び「少しある」と回答した方（42人）に、戻る条件やどのような環境が整えば町に戻りたいと思うかお聞きしたところ、「買い物などの日常の利便性」への回答割合が59.5%と最も高くなっており、次いで、「仕事や就職先の確保」及び「文化・娯楽施設の充実」が33.3%、「自然環境の保全・活用」が19.0%、「イベントの開催等による賑わいの創出」が16.7%と続いています。



**【属性別】**

性別では、「女性」の「仕事や就職先の確保」及び「文化・娯楽施設の充実」への回答割合が高い結果となっています。

※学年別の回答結果は参考値として見る必要があります。

〔性別〕

	仕事や就職先の確保	買い物などの日常の利便性	イベントの開催等による賑わいの創出	バスや鉄道等の公共交通の充実	自然環境の保全・活用	文化・娯楽施設の充実	医療機関の充実	出産・子育て環境の充実	子どもの教育環境の充実
全体 (n=42)	33.3	59.5	16.7	14.3	19.0	33.3	9.5	7.1	11.9
男性 (n=17)	23.5	52.9	23.5	23.5	35.3	23.5	0.0	5.9	17.6
女性 (n=24)	41.7	62.5	12.5	8.3	8.3	41.7	16.7	8.3	4.2
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

	介護など福祉サービスの充実	地震や土砂災害などの防災対策の充実	その他	無回答
全体 (n=42)	0.0	7.1	11.9	2.4
男性 (n=17)	0.0	11.8	17.6	0.0
女性 (n=24)	0.0	4.2	8.3	4.2
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	仕事や就職先の確保	買い物などの日常の利便性	イベントの開催等による賑わいの創出	バスや鉄道等の公共交通の充実	自然環境の保全・活用	文化・娯楽施設の充実	医療機関の充実	出産・子育て環境の充実	子どもの教育環境の充実
全体 (n=42)	33.3	59.5	16.7	14.3	19.0	33.3	9.5	7.1	11.9
中学1年生 (n=8)	37.5	25.0	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
中学2年生 (n=9)	0.0	66.7	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2
中学3年生 (n=9)	22.2	55.6	22.2	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	11.1
高校1年生 (n=6)	83.3	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
高校2年生 (n=2)	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生 (n=8)	25.0	87.5	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0	37.5	25.0

	介護など福祉サービスの充実	地震や土砂災害などの防災対策の充実	その他	無回答
全体 (n=42)	0.0	7.1	11.9	2.4
中学1年生 (n=8)	0.0	25.0	25.0	12.5
中学2年生 (n=9)	0.0	11.1	0.0	0.0
中学3年生 (n=9)	0.0	0.0	22.2	0.0
高校1年生 (n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生 (n=8)	0.0	0.0	12.5	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

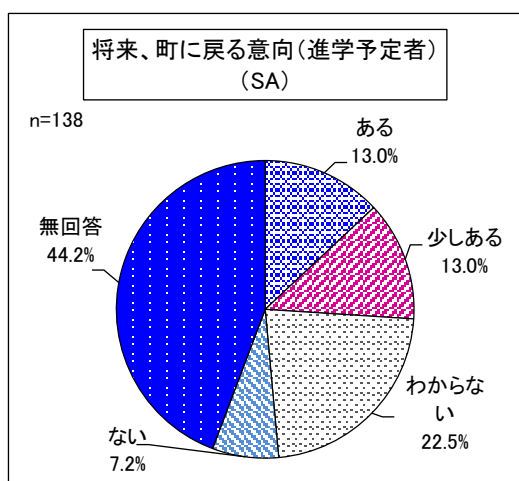
※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 14 問 7 で「2. 進学」を選択した方におたずねします。将来、弟子屈町に戻りたいという思いはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

**【全体】**

現段階で高校卒業後に「進学」と回答した方（138 人）に、将来、弟子屈町に戻る意向をお聞きしたところ、「ある」が 13.0%、「少しある」が 13.0%、「ない」が 7.2%、「わからない」が 22.5%となっています。

「ある」と「少しある」を合わせた割合は 26.0%と約 4 人に 1 人の割合となっている一方で、「無回答」が 44.2%と、4 割を超えています。



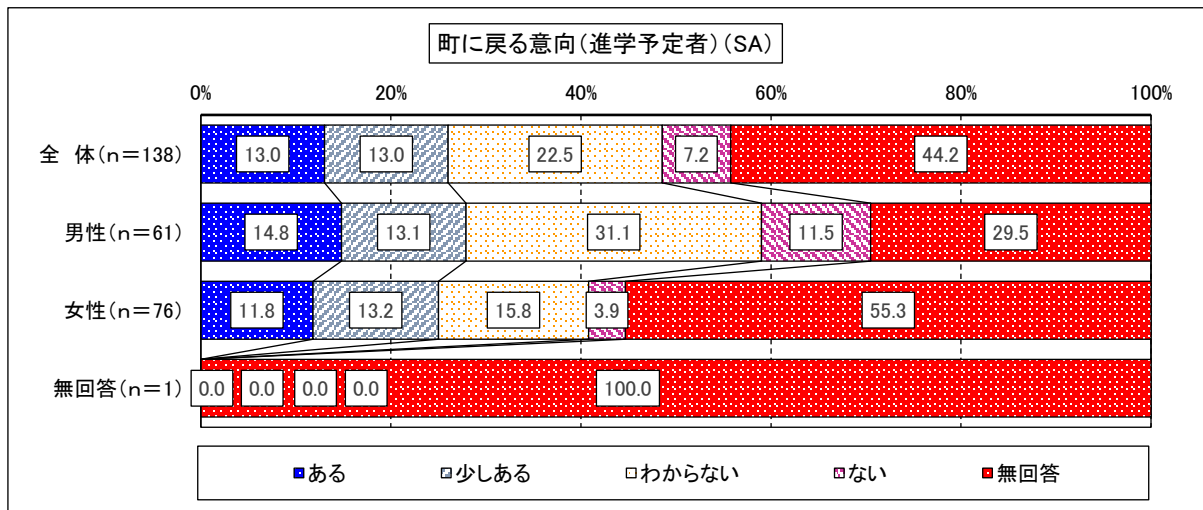
**【属性別】**

性別では、男女ともに将来、弟子屈町に戻る意向が「ある」及び「少しある」への回答割合に大きな違いはない結果となっていますが、「わからない」及び「無回答」の回答割合が高い結果となっています。

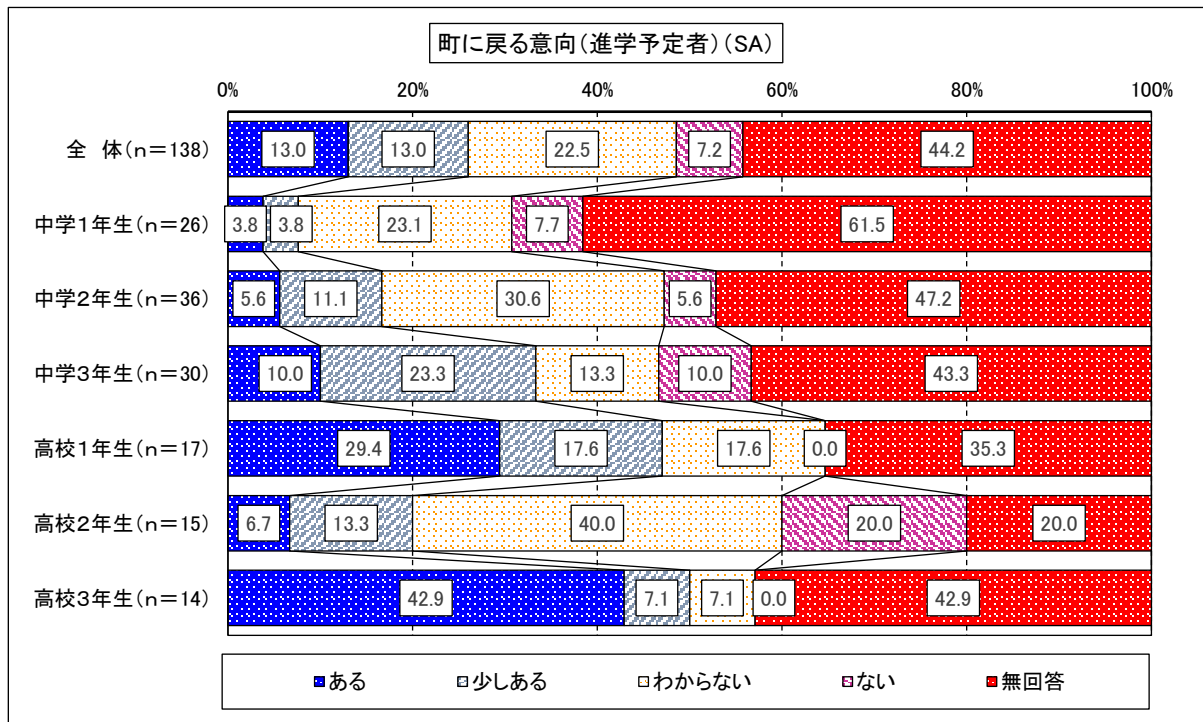
学年別では、各学年ともに、「わからない」及び「無回答」の回答割合が高い結果となっています。（※高校生の回答結果は、参考値としてみる必要があります。）



〔性別〕



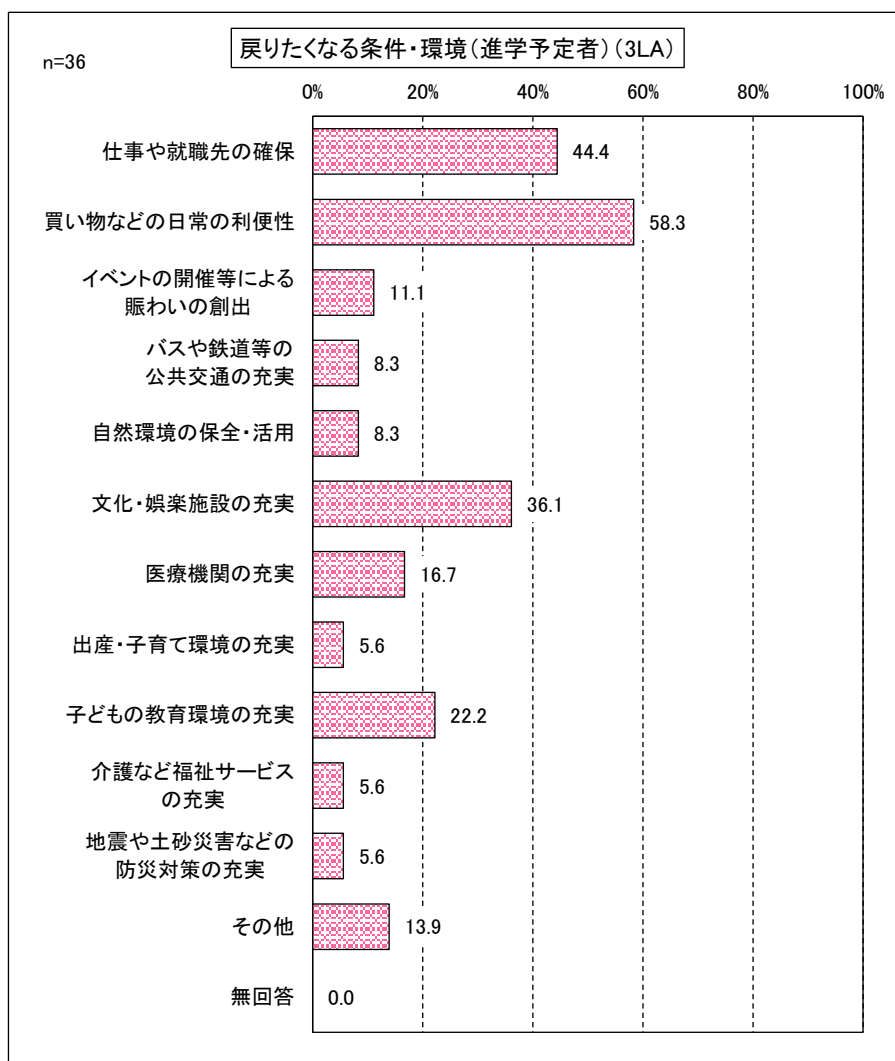
〔学年別〕



問15 問14で「1. ある」または「2. 少しある」を選択した方におたずねします。どのような条件・環境が整えば、より弟子屈町に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

**【全体】**

将来、弟子屈町に戻る意向が、「ある」及び「少しある」と回答した進学予定者の方（36人）に、戻る条件やどのような環境が整えば町に戻りたいと思うかお聞きしたところ、「買い物などの日常の利便性」への回答割合が58.3%と最も高くなっており、次いで、「仕事や就職先の確保」が44.4%、「文化・娯楽施設の充実」が36.1%、「子どもの行為く環境の充実」が22.2%、「医療機関の充実」が16.7%と続いています。



**【属性別】**

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。（※男女ともに、回答結果は参考値としてみる必要があります。）

※学年別の回答結果は参考値として見る必要があります。

〔性別〕

	仕事や就職先の確保	買い物などの日常の利便性	イベントの開催等による賑わいの創出	バスや鉄道等の公共交通の充実	自然環境の保全・活用	文化・娯楽施設の充実	医療機関の充実	出産・子育て環境の充実	子どもの教育環境の充実
全体 (n=36)	44.4	58.3	11.1	8.3	8.3	36.1	16.7	5.6	22.2
男性 (n=17)	47.1	52.9	11.8	5.9	11.8	29.4	5.9	5.9	23.5
女性 (n=19)	42.1	63.2	10.5	10.5	5.3	42.1	26.3	5.3	21.1

	介護など福祉サービスの充実	地震や土砂災害などの防災対策の充実	その他	無回答
全体 (n=42)	5.6	5.6	13.9	0.0
男性 (n=17)	11.8	5.9	17.6	0.0
女性 (n=24)	0.0	5.3	10.5	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

※性別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

〔学年別〕

	仕事や就職先の確保	買い物などの日常の利便性	イベントの開催等による賑わいの創出	バスや鉄道等の公共交通の充実	自然環境の保全・活用	文化・娯楽施設の充実	医療機関の充実	出産・子育て環境の充実	子どもの教育環境の充実
全体 (n=36)	44.4	58.3	11.1	8.3	8.3	36.1	16.7	5.6	22.2
中学1年生 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生 (n=6)	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3
中学3年生 (n=10)	10.0	50.0	10.0	0.0	30.0	60.0	30.0	0.0	10.0
高校1年生 (n=8)	100.0	62.5	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	25.0
高校2年生 (n=3)	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
高校3年生 (n=7)	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	28.6

	介護など福祉サービスの充実	地震や土砂災害などの防災対策の充実	その他	無回答
全体 (n=36)	5.6	5.6	13.9	0.0
中学1年生 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0
中学2年生 (n=6)	16.7	33.3	0.0	0.0
中学3年生 (n=10)	10.0	0.0	20.0	0.0
高校1年生 (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生 (n=7)	0.0	0.0	28.6	0.0

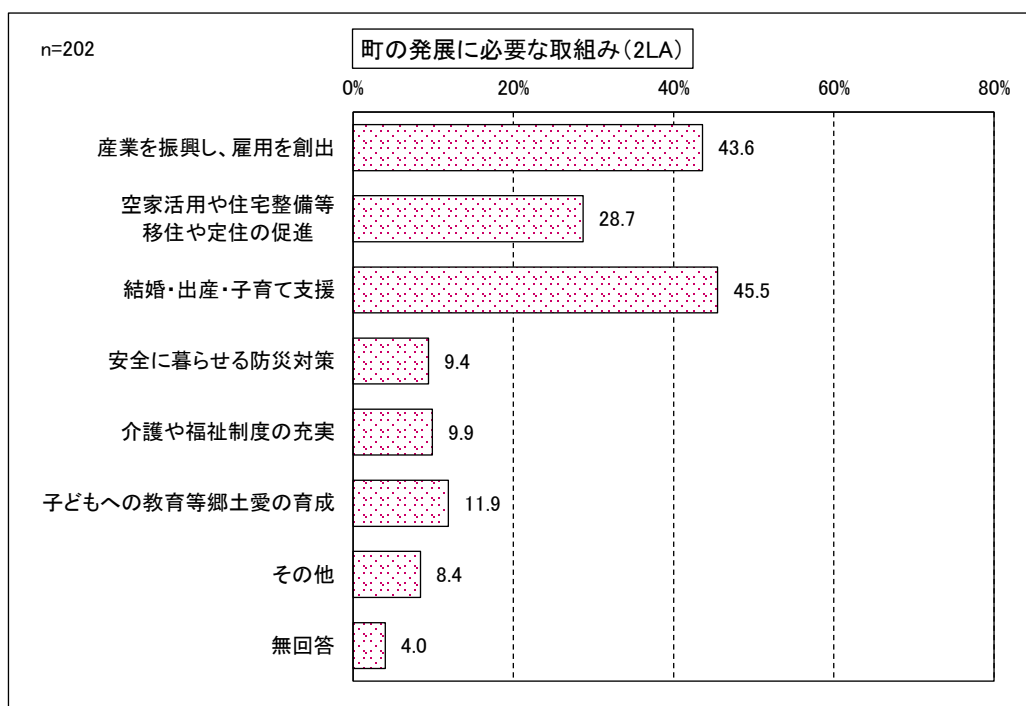
※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 16 本町は今後も人口が減少していくことが見込まれますが、人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

**【全体】**

人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すために必要な取り組みとしては、「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み」への回答割合が45.5%と最も高く、次いで、「産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み」が43.6%、「空家活用や住宅整備等移住や定住の促進」が28.7%と続いています。



**【属性別】**

性別では、「女性」に比べ「男性」の「産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み」への回答割合が高く、「男性」に比べ「女性」の「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み」への回答割合が高くなっています。

学年別では、中学生では「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み」への回答割合が高く、高校生では「産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み」への回答割合が高くなっています。

〔性別〕

	産業を振興し、雇用を創出	空家活用や住宅整備等移住や定住の促進	結婚・出産・子育て支援	安全に暮らせる防災対策	介護や福祉制度の充実	子どもへの教育等郷土愛の育成	その他	無回答
全体 (n=202)	43.6	28.7	45.5	9.4	9.9	11.9	8.4	4.0
男性 (n=94)	47.9	26.6	37.2	8.5	8.5	11.7	10.6	5.3
女性 (n=104)	38.5	31.7	52.9	10.6	11.5	12.5	5.8	1.9
無回答 (n=4)	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	産業を振興し、雇用を創出	空家活用や住宅整備等移住や定住の促進	結婚・出産・子育て支援	安全に暮らせる防災対策	介護や福祉制度の充実	子どもへの教育等郷土愛の育成	その他	無回答
全体 (n=202)	43.6	28.7	45.5	9.4	9.9	11.9	8.4	4.0
中学1年生 (n=41)	29.3	31.7	31.7	12.2	12.2	7.3	9.8	17.1
中学2年生 (n=45)	37.8	28.9	42.2	8.9	4.4	15.6	15.6	2.2
中学3年生 (n=42)	42.9	26.2	61.9	4.8	16.7	9.5	4.8	0.0
高校1年生 (n=25)	56.0	36.0	32.0	12.0	8.0	16.0	8.0	0.0
高校2年生 (n=25)	60.0	20.0	56.0	8.0	8.0	12.0	4.0	0.0
高校3年生 (n=24)	50.0	29.2	50.0	12.5	8.3	12.5	4.2	0.0

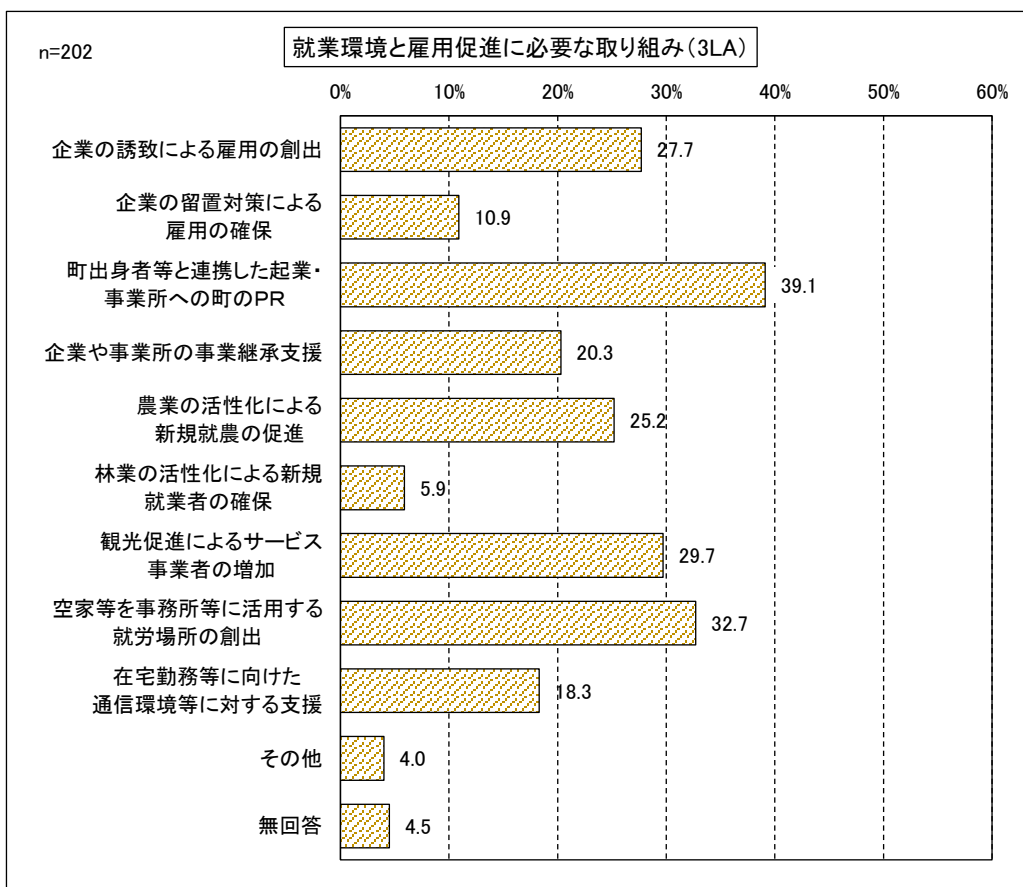
※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

## 4 町の取り組み

問 17 働く場づくりと雇用の促進に向け、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。  
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

### 【全体】

働く場づくりと雇用の促進に向け、力を入れるべき取り組みとしては、「町外ネットワーク（町出身者等）との連携による起業・事業所への弟子屈町のPR」への回答割合が39.1%と最も高く、次いで、「空家や空き事務所を作業場・事務所として活用することによる就労場所の創出」が32.7%、「観光促進によるサービス事業者の増加」が29.7%、「企業の誘致による雇用の創出」が27.7%、「農業の活性化による新規就農の促進」が29.7%と続いています。



### 【属性別】

性別では、「女性」に比べ「男性」の「町外ネットワーク（町出身者等）との連携による起業・事業所への弟子屈町のPR」への回答割合が高く、「男性」に比べ「女性」の「空家や空き事務所を作業場・事務所として活用することによる就労場所の創出」への回答割合が高くなっています。

学年別では、「中学1年生」と「高校3年生」を除き、「町外ネットワーク（町出身者等）との連携による起業・事業所への弟子屈町のPR」への回答割合が高くなっています。

〔性別〕

	企業の誘致による雇用の創出	企業の留置対策による雇用の確保	町出身者等と連携した起業・事業所への町のPR	企業や事業所の事業継承支援	農業の活性化による新規就農の促進	林業の活性化による新規就業者の確保	観光促進によるサービス事業者の増加	就労場所の創出	空家等を事務所等に活用する	在宅勤務等に向けた通信環境等に対する支援
全体 (n=202)	27.7	10.9	<b>39.1</b>	20.3	25.2	5.9	29.7	<b>32.7</b>	18.3	
男性 (n=94)	<b>31.9</b>	11.7	<b>43.6</b>	23.4	25.5	9.6	29.8	21.3	11.7	
女性 (n=104)	23.1	9.6	<b>33.7</b>	17.3	26.0	2.9	28.8	<b>43.3</b>	24.0	
無回答 (n=4)	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	

	その他	無回答
全体 (n=202)	4.0	4.5
男性 (n=94)	4.3	3.2
女性 (n=104)	3.8	5.8
無回答 (n=4)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。



〔学年別〕

	企業の誘致による雇用の創出	企業の留置対策による雇用の確保	町出身者等と連携した起業・事業所への町のPR	企業や事業所の事業継承支援	農業の活性化による新規就農の促進	林業の活性化による新規就業者の確保	観光促進によるサービス事業者の増加	就労場所の創出	空家等を事務所等に活用する	在宅勤務等に向けた通信環境等に対する支援
全体 (n=202)	27.7	10.9	<b>39.1</b>	20.3	25.2	5.9	29.7	<b>32.7</b>	18.3	
中学1年生 (n=41)	14.6	12.2	<b>26.8</b>	<b>26.8</b>	29.3	7.3	22.0	<b>34.1</b>	17.1	
中学2年生 (n=45)	26.7	11.1	<b>42.2</b>	13.3	15.6	2.2	<b>35.6</b>	31.1	13.3	
中学3年生 (n=42)	26.2	7.1	<b>50.0</b>	28.6	<b>38.1</b>	11.9	26.2	21.4	16.7	
高校1年生 (n=25)	28.0	4.0	<b>40.0</b>	12.0	32.0	8.0	<b>44.0</b>	32.0	16.0	
高校2年生 (n=25)	<b>48.0</b>	16.0	<b>52.0</b>	28.0	20.0	0.0	24.0	36.0	16.0	
高校3年生 (n=24)	33.3	16.7	20.8	8.3	12.5	4.2	29.2	<b>50.0</b>	<b>37.5</b>	

	その他	無回答
全体 (n=202)	4.0	4.5
中学1年生 (n=41)	4.9	14.6
中学2年生 (n=45)	11.1	2.2
中学3年生 (n=42)	2.4	4.8
高校1年生 (n=25)	0.0	0.0
高校2年生 (n=25)	0.0	0.0
高校3年生 (n=24)	0.0	0.0

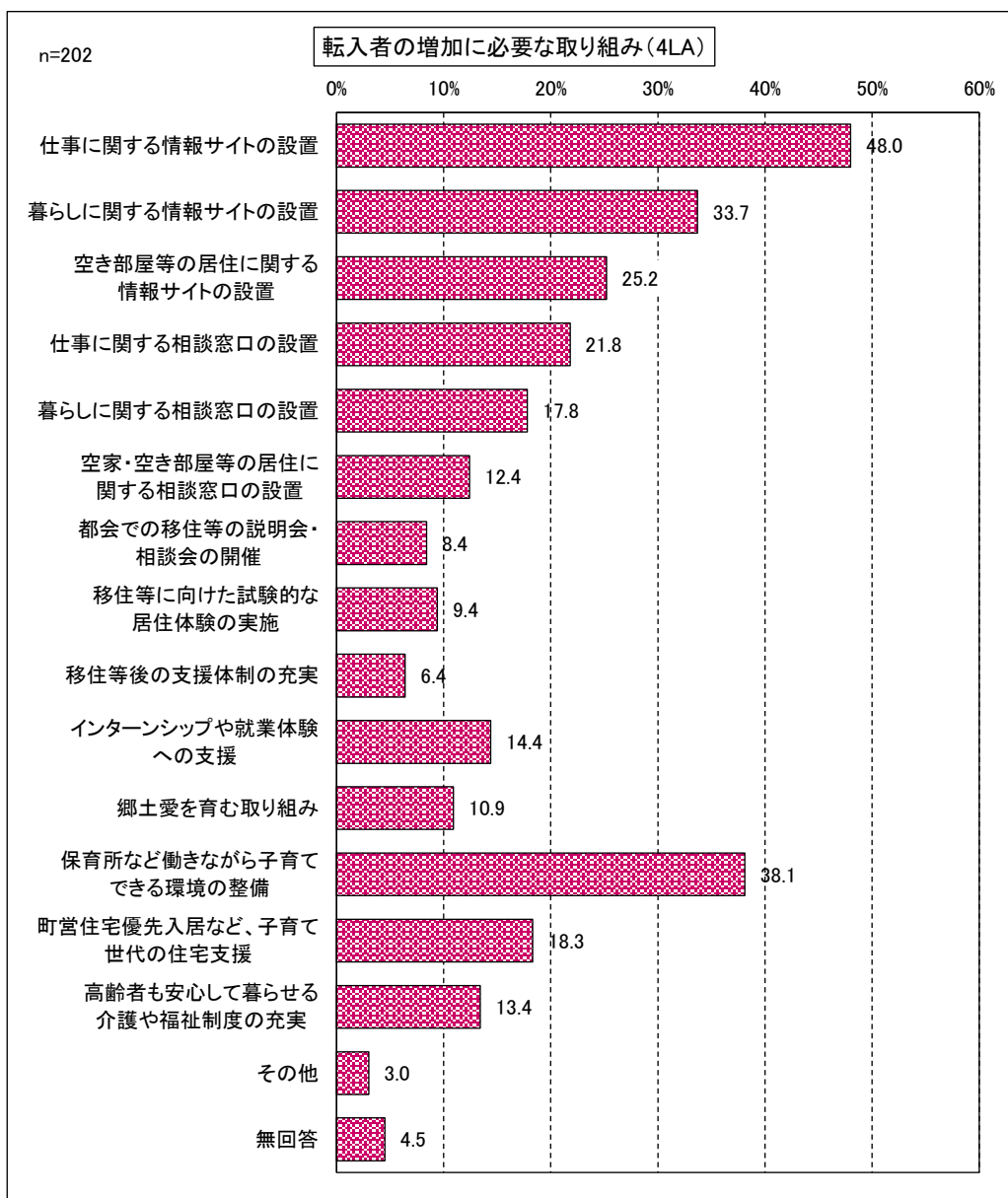
※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 18 本町へ移住・U I J ターンを促し、転入者を増加させるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

(Uターンは、本町から他市町村へ移住したあと、再び本町へ戻ること。Iターンは、他市町村から本町へ移住すること。Jターンは出身地から別の市町村へ移住したあと、出身地近くの本町へ移住すること。)

【全体】

本町へ移住・U I J ターンを促し、転入者を増加させるために、力を入れるべき取り組みとしては、「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が48.0%と最も高く、次いで、「保育所やファミリー・サポートなど働きながら子育てできる環境の整備」が38.1%、「暮らしに関する情報サイトの設置」が33.7%、「空家・空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置」が25.2%、「仕事に関する相談窓口の設置」が21.8%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が高い結果となっていますが、「女性」の「保育所やファミリー・サポートなど働きながら子育てできる環境の整備」への回答割合が非常に高い結果となっています。

学年別では、「高校3年生」を除き「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が高い結果となっていますが、「高校3年生」では、「保育所やファミリー・サポートなど働きながら子育てできる環境の整備」への回答割合が非常に高い結果となっています。

〔性別〕

	仕事に関する情報サイトの設置	暮らしに関する情報サイトの設置	空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置	仕事に関する相談窓口の設置	暮らしに関する相談窓口の設置	空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置	都会での移住等の説明会・相談会の開催	移住等に向けた試験的な居住体験の実施	移住等後の支援体制の充実
全体 (n=202)	<b>48.0</b>	33.7	25.2	21.8	17.8	12.4	8.4	9.4	6.4
男性 (n=94)	<b>54.3</b>	<b>39.4</b>	20.2	23.4	13.8	13.8	9.6	8.5	5.3
女性 (n=104)	<b>41.3</b>	26.9	29.8	20.2	21.2	10.6	6.7	10.6	7.7
無回答 (n=4)	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

	インターネットシップや就業体験への支援	郷土愛を育む取り組み	保育所など働きながら子育てできる環境の整備	町営住宅優先入居など、子育て世代の住宅支援	高齢者も安心して暮らせる介護や福祉制度の充実	その他	無回答
全体 (n=202)	14.4	10.9	<b>38.1</b>	18.3	13.4	3.0	4.5
男性 (n=94)	16.0	12.8	21.3	10.6	9.6	4.3	4.3
女性 (n=104)	13.5	9.6	<b>53.8</b>	26.0	17.3	1.9	4.8
無回答 (n=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	仕事に関する情報サイトの設置	暮らしに関する情報サイトの設置	空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置	仕事に関する相談窓口の設置	暮らしに関する相談窓口の設置	空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置	都会での移住等の説明会・相談会の開催	移住等に向けた試験的な居住体験の実施	移住等後の支援体制の充実
全体 (n=202)	48.0	33.7	25.2	21.8	17.8	12.4	8.4	9.4	6.4
中学1年生 (n=41)	41.5	26.8	24.4	26.8	19.5	17.1	7.3	9.8	9.8
中学2年生 (n=45)	42.2	40.0	26.7	15.6	13.3	13.3	8.9	11.1	2.2
中学3年生 (n=42)	42.9	33.3	19.0	23.8	21.4	16.7	14.3	7.1	9.5
高校1年生 (n=25)	72.0	40.0	28.0	24.0	12.0	4.0	8.0	8.0	0.0
高校2年生 (n=25)	68.0	44.0	24.0	20.0	12.0	0.0	4.0	8.0	4.0
高校3年生 (n=24)	33.3	16.7	33.3	20.8	29.2	16.7	4.2	12.5	12.5

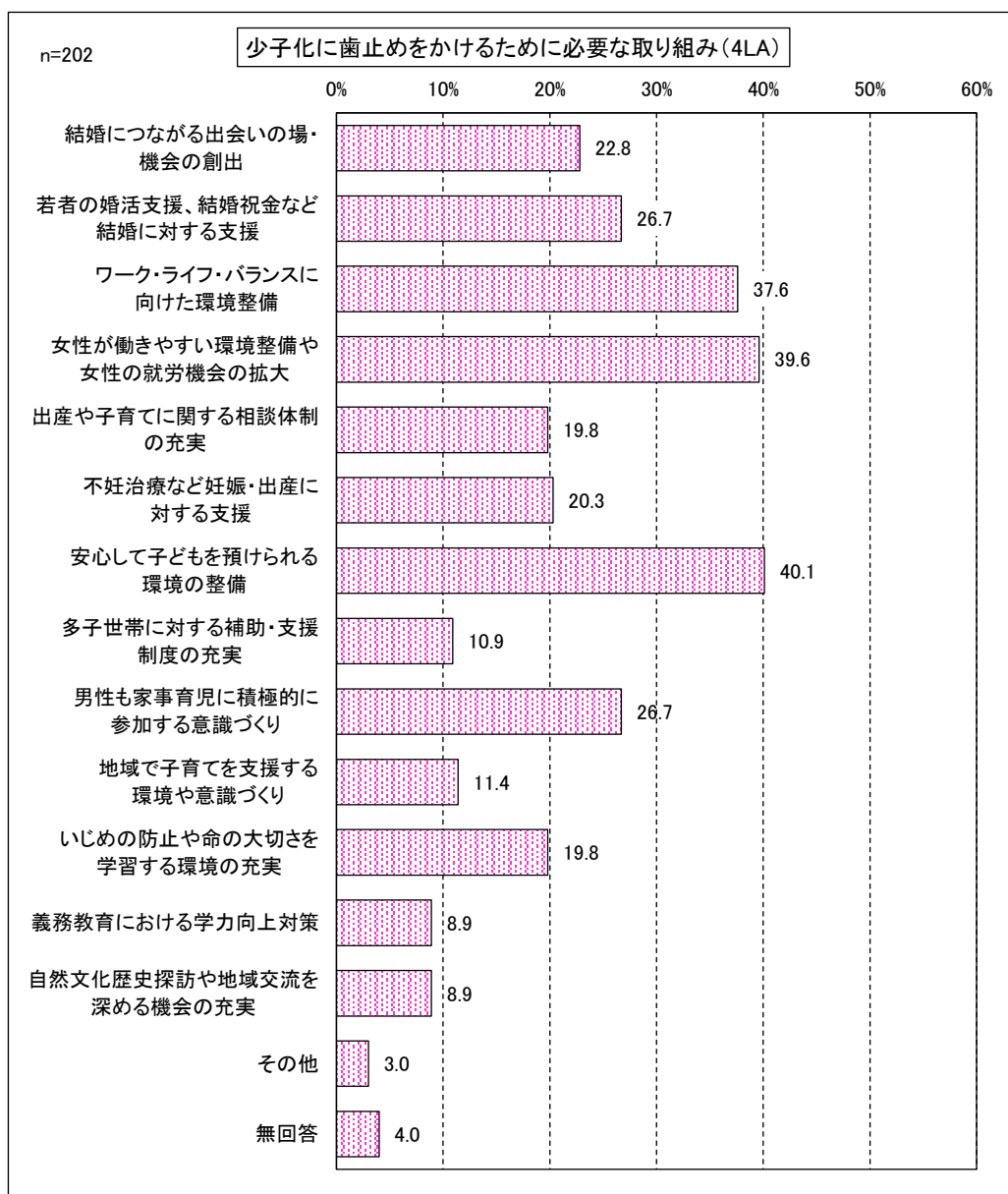
	インターネットシップや就業体験への支援	郷土愛を育む取り組み	保育所など働きながら子育てできる環境の整備	町営住宅優先入居など、子育て世代の住宅支援	高齢者も安心して暮らせる介護や福祉制度の充実	その他	無回答
全体 (n=202)	14.4	10.9	38.1	18.3	13.4	3.0	4.5
中学1年生 (n=41)	12.2	7.3	26.8	14.6	12.2	2.4	14.6
中学2年生 (n=45)	6.7	11.1	42.2	22.2	6.7	8.9	2.2
中学3年生 (n=42)	19.0	14.3	38.1	14.3	19.0	2.4	2.4
高校1年生 (n=25)	28.0	20.0	28.0	16.0	12.0	0.0	0.0
高校2年生 (n=25)	20.0	4.0	28.0	20.0	24.0	0.0	4.0
高校3年生 (n=24)	4.2	8.3	70.8	25.0	8.3	0.0	0.0

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 19 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

【全体】

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるために、力を入れるべき取り組みとしては、「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が40.1%と最も高くなっており、次いで、「女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大」が39.6%、「仕事と家庭生活（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境整備」が37.6%、「若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援」及び「男性も家事や子育てに積極的に参加する意識づくり」が26.7%、「結婚につながる出会いの場・機会の創出」が22.8%と続いています。



【属性別】

性別では、「男性」に比べ「女性」の、「仕事と家庭生活（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境整備」及び「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が高い結果となっています。

学年別では、「高校2年生」を除き、「女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大」及び「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が高い結果となっていますが、「高校2年生」では「結婚につながる出会いの場・機会の創出」及び「若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援」への回答割合が高い結果となっています。

〔性別〕

	結婚につながる出会いの場・機会の創出	若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援	ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備	女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大	出産や子育てに関する相談体制の充実	不妊治療など妊娠・出産に対する支援	安心して子どもを預けられる環境の整備	多子世帯に対する補助・支援制度の充実	男性も家事育児に積極的に参加する意識づくり
全体（n=202）	22.8	26.7	37.6	<b>39.6</b>	19.8	20.3	<b>40.1</b>	10.9	26.7
男性（n=94）	<b>34.0</b>	30.9	<b>35.1</b>	<b>34.0</b>	13.8	18.1	30.9	10.6	19.1
女性（n=104）	12.5	22.1	40.4	<b>45.2</b>	25.0	22.1	<b>48.1</b>	11.5	32.7
無回答（n=4）	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	50.0

	地域で子育てを支援する環境や意識づくり	いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実	義務教育における学力向上対策	自然文化歴史探訪や地域交流を深める機会の充実	その他	無回答
全体（n=202）	11.4	19.8	8.9	8.9	3.0	4.0
男性（n=94）	10.6	22.3	7.4	8.5	4.3	5.3
女性（n=104）	12.5	18.3	10.6	8.7	1.9	2.9
無回答（n=4）	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみる事が望ましい。

〔学年別〕

	結婚につながる出会いの場・機会の創出	若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援	ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備	女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大	出産や子育てに関する相談体制の充実	不妊治療など妊娠・出産に対する支援	安心して子どもを預けられる環境の整備	多子世帯に対する補助・支援制度の充実	男性も家事育児に積極的に参加する意識づくり
全体 (n=202)	22.8	26.7	37.6	39.6	19.8	20.3	40.1	10.9	26.7
中学1年生 (n=41)	24.4	22.0	31.7	34.1	29.3	19.5	43.9	7.3	24.4
中学2年生 (n=45)	15.6	31.1	33.3	35.6	17.8	17.8	44.4	8.9	26.7
中学3年生 (n=42)	16.7	19.0	40.5	38.1	14.3	31.0	33.3	16.7	21.4
高校1年生 (n=25)	20.0	20.0	60.0	56.0	12.0	8.0	40.0	4.0	36.0
高校2年生 (n=25)	48.0	48.0	36.0	36.0	20.0	16.0	28.0	16.0	24.0
高校3年生 (n=24)	20.8	25.0	29.2	45.8	25.0	25.0	50.0	12.5	33.3

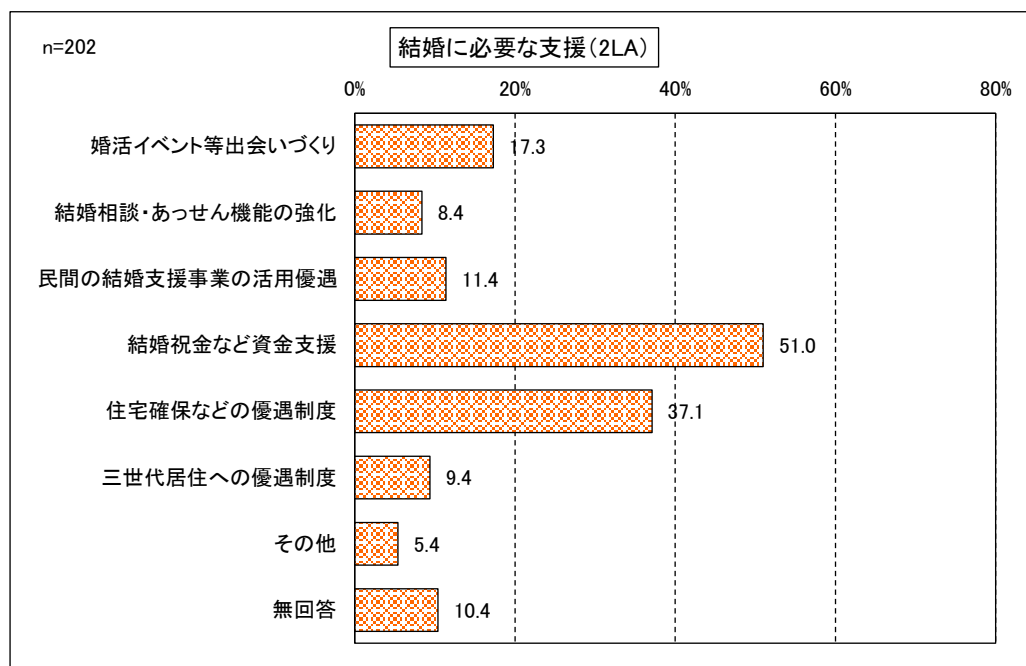
	地域で子育てを支援する環境や意識づくり	いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実	義務教育における学力向上対策	自然文化歴史探訪や地域交流を深める機会の充実	その他	無回答
全体 (n=202)	11.4	19.8	8.9	8.9	3.0	4.0
中学1年生 (n=41)	9.8	22.0	17.1	2.4	4.9	9.8
中学2年生 (n=45)	11.1	24.4	0.0	11.1	4.4	0.0
中学3年生 (n=42)	11.9	23.8	11.9	11.9	2.4	7.1
高校1年生 (n=25)	8.0	4.0	8.0	12.0	0.0	4.0
高校2年生 (n=25)	12.0	20.0	0.0	4.0	0.0	0.0
高校3年生 (n=24)	16.7	16.7	16.7	12.5	4.2	0.0

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

問 20 あなたは、本町において、結婚に関してどのような支援があればよいと思いますか。特に期待する番号に2つまで○をつけてください。

**【全体】**

結婚に関してあればよいと思う支援について、「結婚祝金など資金支援」への回答割合が51.0%と最も高くなっており、次いで、「住宅確保などの優遇制度」が37.1%、「婚活イベント等出会いづくり」が17.3%、「民間の結婚支援事業の活用優遇」が11.4%と続いています。



**【属性別】**

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

学年別では、各学年ともに同じ回答傾向となっていますが、「高校2年生」では、「婚活イベント等出会いづくり」への回答割合も高い結果となっています。



〔性別〕

	婚活イベント等出会いづくり	結婚相談・あっせん機能の強化	民間の結婚支援事業の活用優遇	結婚祝金など資金支援	住宅確保などの優遇制度	三世帯居住への優遇制度	その他	無回答
全体 (n=202)	17.3	8.4	11.4	51.0	37.1	9.4	5.4	10.4
男性 (n=94)	22.3	11.7	11.7	44.7	34.0	10.6	7.4	10.6
女性 (n=104)	13.5	5.8	10.6	58.7	39.4	8.7	2.9	8.7
無回答 (n=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	婚活イベント等出会いづくり	結婚相談・あっせん機能の強化	民間の結婚支援事業の活用優遇	結婚祝金など資金支援	住宅確保などの優遇制度	三世帯居住への優遇制度	その他	無回答
全体 (n=202)	17.3	8.4	11.4	51.0	37.1	9.4	31.1	10.4
中学1年生 (n=41)	12.2	7.3	14.6	51.2	41.5	2.4	30.6	17.1
中学2年生 (n=45)	15.6	6.7	4.4	53.3	40.0	6.7	11.1	11.1
中学3年生 (n=42)	9.5	9.5	11.9	52.4	33.3	16.7	4.8	11.9
高校1年生 (n=25)	16.0	4.0	16.0	44.0	36.0	16.0	0.0	8.0
高校2年生 (n=25)	44.0	16.0	8.0	48.0	36.0	8.0	0.0	4.0
高校3年生 (n=24)	16.7	8.3	16.7	54.2	33.3	8.3	8.3	4.2

※学年別の無回答者はいない (n=0) ので、表記していない。

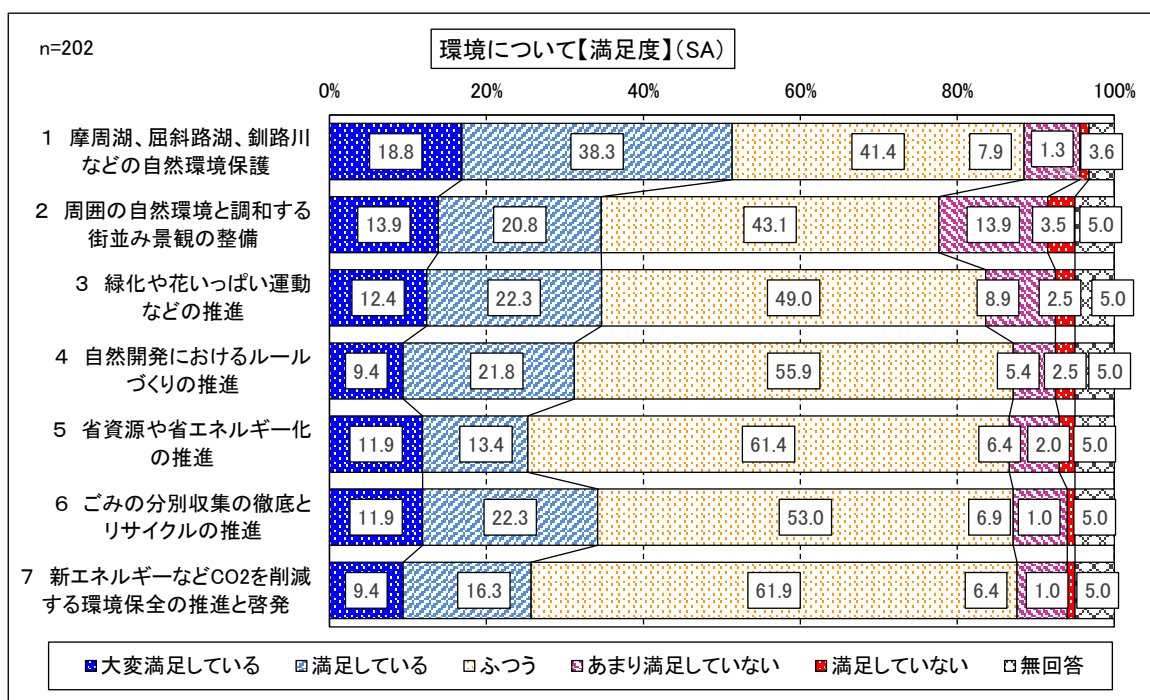
問 21 弟子屈町の生活環境やまちづくり等について「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の 46 ある項目の「満足度」と「重要度」それぞれについて、あてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

【環境】について

〔全体：満足度〕

本町の「環境」について設定している 7 項目の「満足度」についての回答結果は、「1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護」への“満足している”（「大変満足している」及び「満足している」を合わせた回答。以下、同様。）が他の項目に比べ比較的多い結果となっています。

一方、「2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備」への“満足していない”（「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた回答。以下、同様。）が多少多い結果となっています。



〔全体：満足度（加重平均）〕

本報告書での「加重平均」とは、各選択肢への回答者数の重み（人数）の違いを考慮して計算した平均のことをいい、数値に重みを掛けた値の総和を重みの総和で割ることにより求めています。

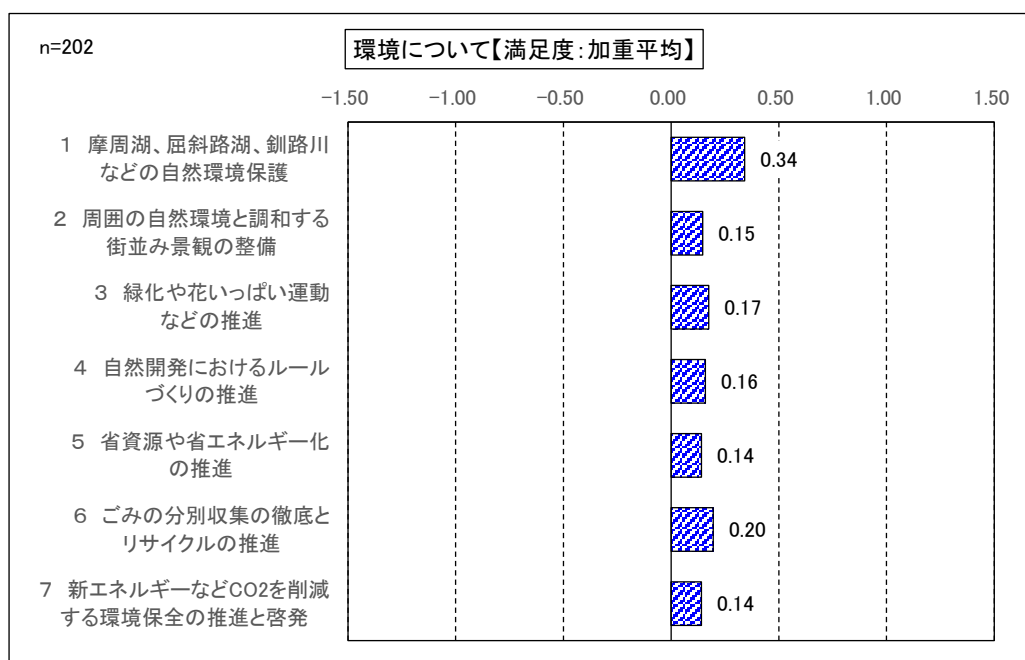
各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出します。したがって、評価点は-2点～+2点の範囲となり、数値が大きいほど満足度への評価が高くなります。

各選択肢の得点は次のように配点しています。

[選択肢]	点数	[選択肢]	点数
大変満足している	+2	あまり満足していない	-1
満足している	+1	満足していない	-2
ふつう	±0	無回答	※対象除外

以上を踏まえた、加重平均値の結果は以下の通りです。

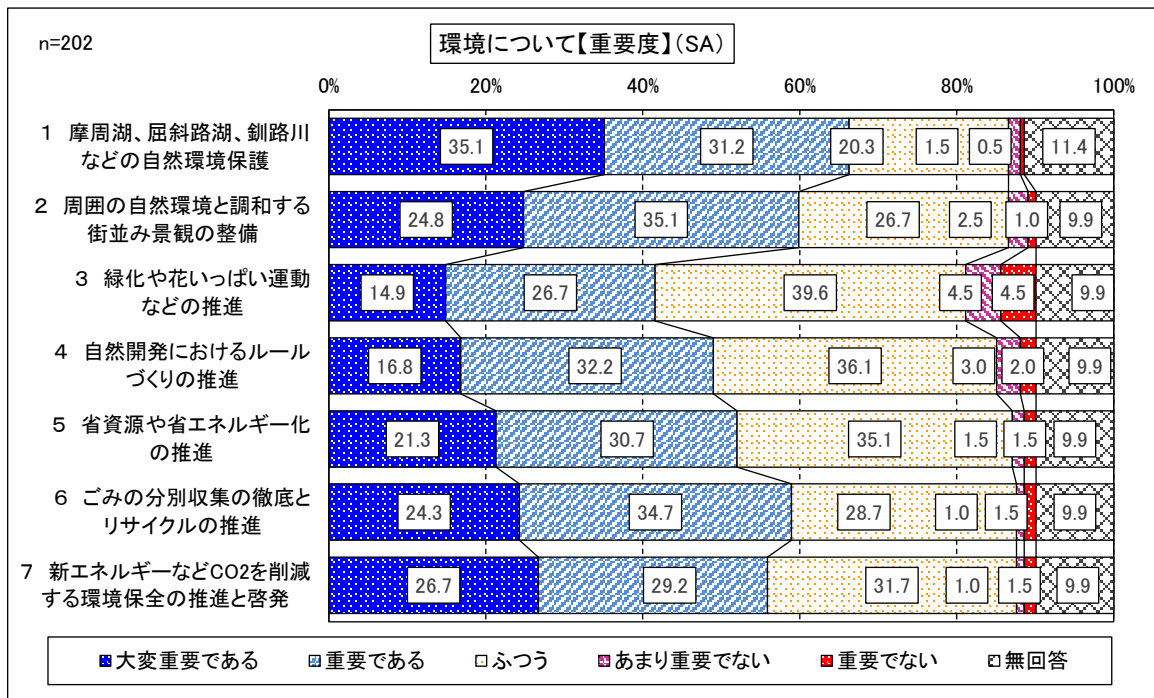
(※加重平均値が 0.50 の場合は、「満足している」と「ふつう」の中間値、-0.50 の場合は、「あまり満足していない」と「ふつう」の中間値となります。)



〔全体：重要度〕

本町の「環境」について設定している7項目の「重要度」についての回答結果は、「1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護」、「2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備」及び「6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進」への“重要である”（「大変重要である」及び「重要である」を合わせた回答。以下、同様。）が多い結果となっています。

一方、“重要でない”（「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた回答。以下、同様。）項目は見られない結果となっています。



〔全体：重要度（加重平均）〕

本報告書では重要度についても「加重平均」を算出しています。とは、各選択肢への回答者数の重み（人数）の違いを考慮して計算した平均とすることは、満足度の加重平均値算出と同様です。

重要度については、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出します。したがって、評価点は-2点～+2点の範囲となり、数値が大きいくほど重要度への評価が高くなります。

各選択肢の得点は次のように配点しています。

〔選択肢〕	点数	〔選択肢〕	点数
大変重要である	+2	あまり重要でない	-1
重要である	+1	重要でない	-2
ふつう	±0	無回答	※対象除外

以上を踏まえた、加重平均値の結果は以下の通りです。

（※加重平均値が0.50の場合は、「重要である」と「ふつう」の中間値、-0.50の場合は、「あまり重要でない」と「ふつう」の中間値となります。）

n=202

環境について【重要度:加重平均】

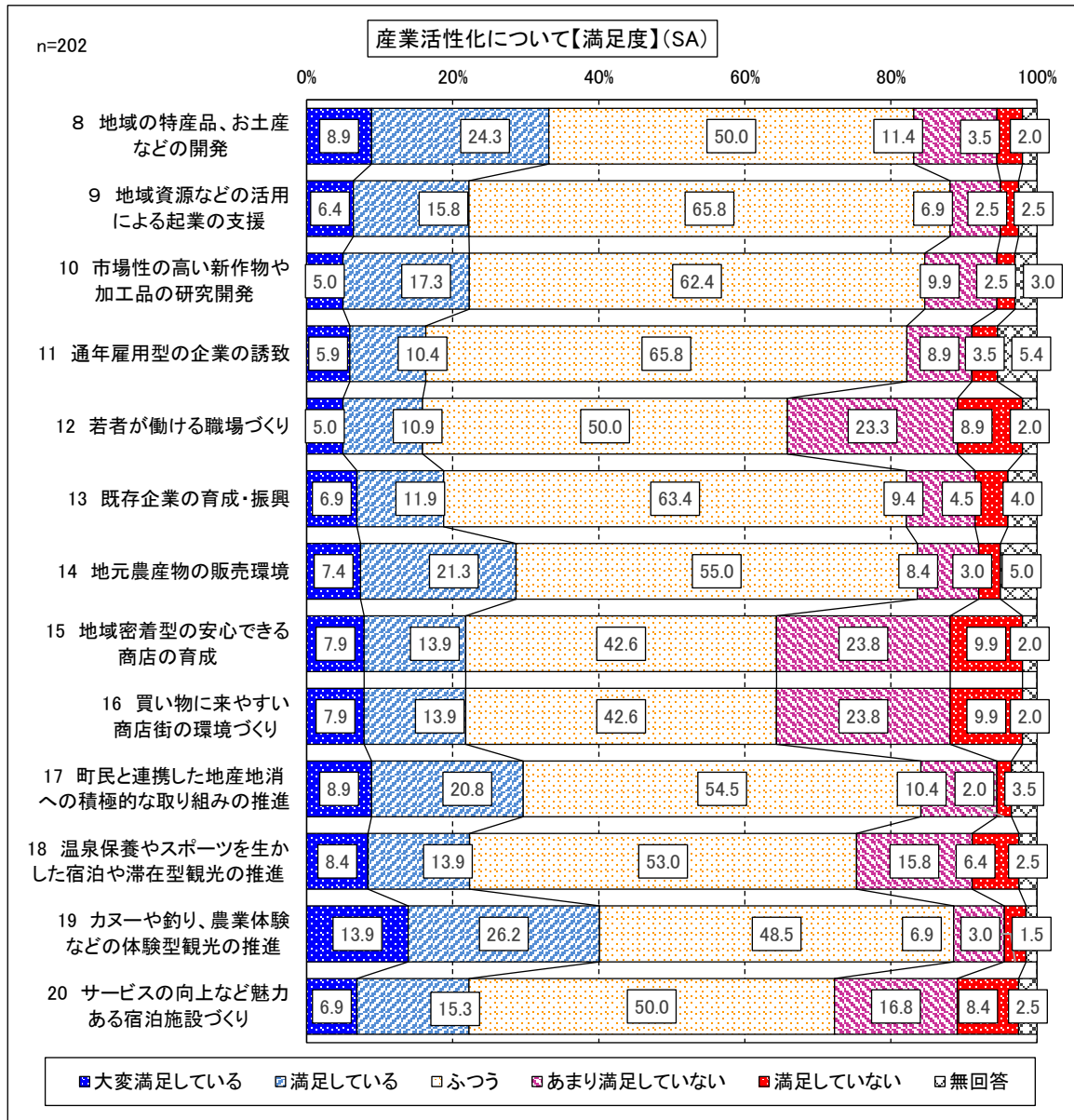
-1.50    -1.00    -0.50    0.00    0.50    1.00    1.50



## 【産業活性化について】

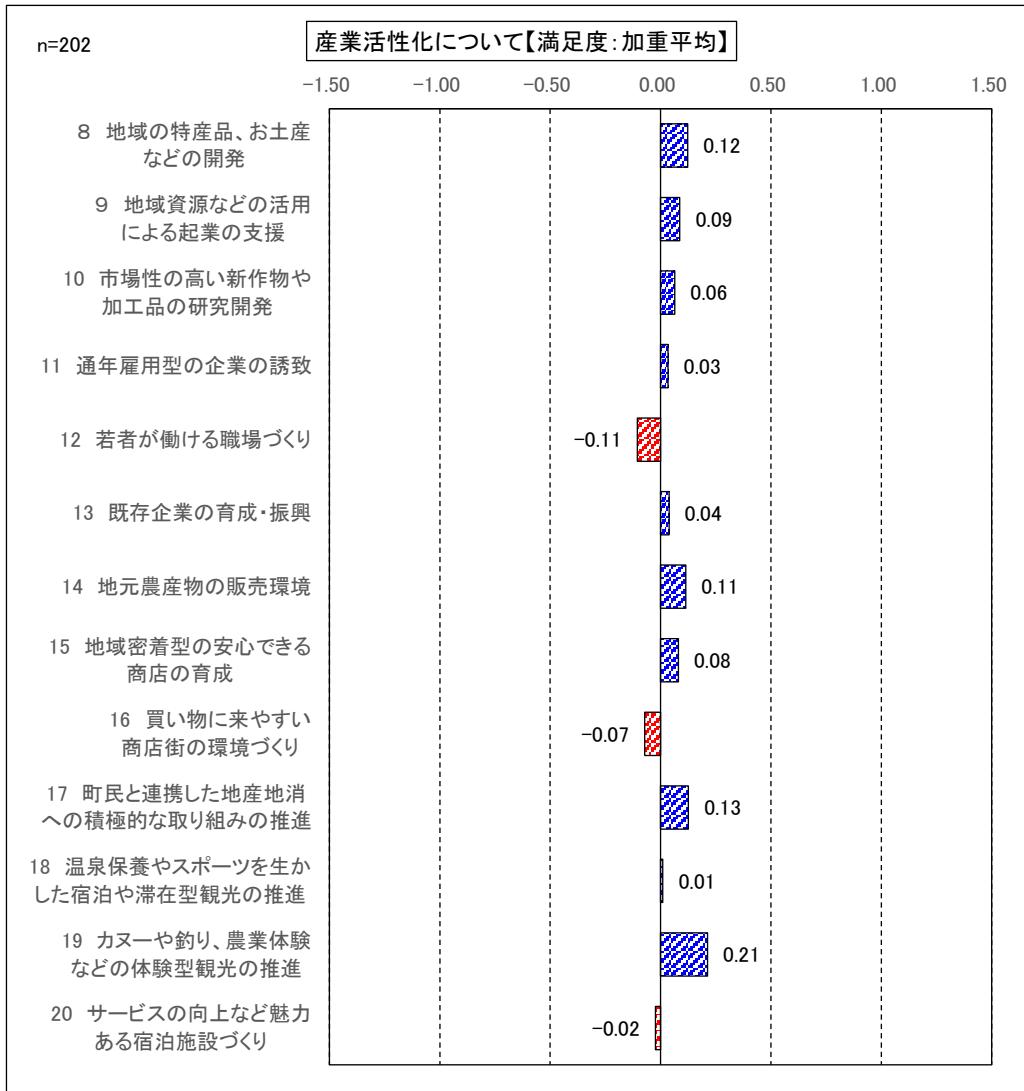
〔全体：満足度〕

本町の「産業活性化」について設定している13項目の「満足度」についての回答結果は、「12 若者が働ける職場づくり」、「15 地域密着型の安心できる商店の育成」、「16 買い物にしやすい商店街の環境づくり」、及び「20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり」への“満足していない”回答が多少多い結果となっています。



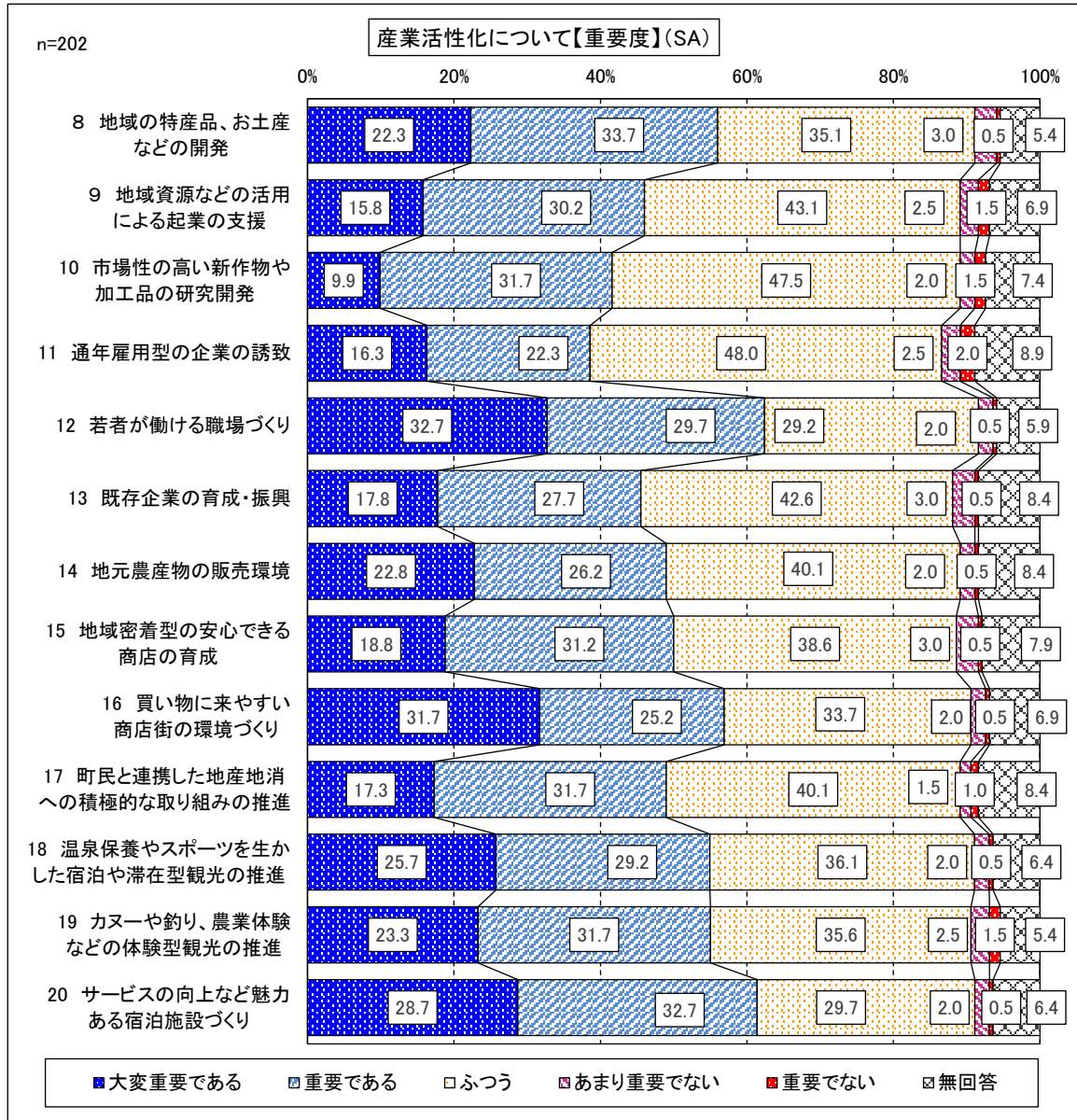
[全体：満足度（加重平均）]

加重平均値の結果は以下の通りです。



〔全体：重要度〕

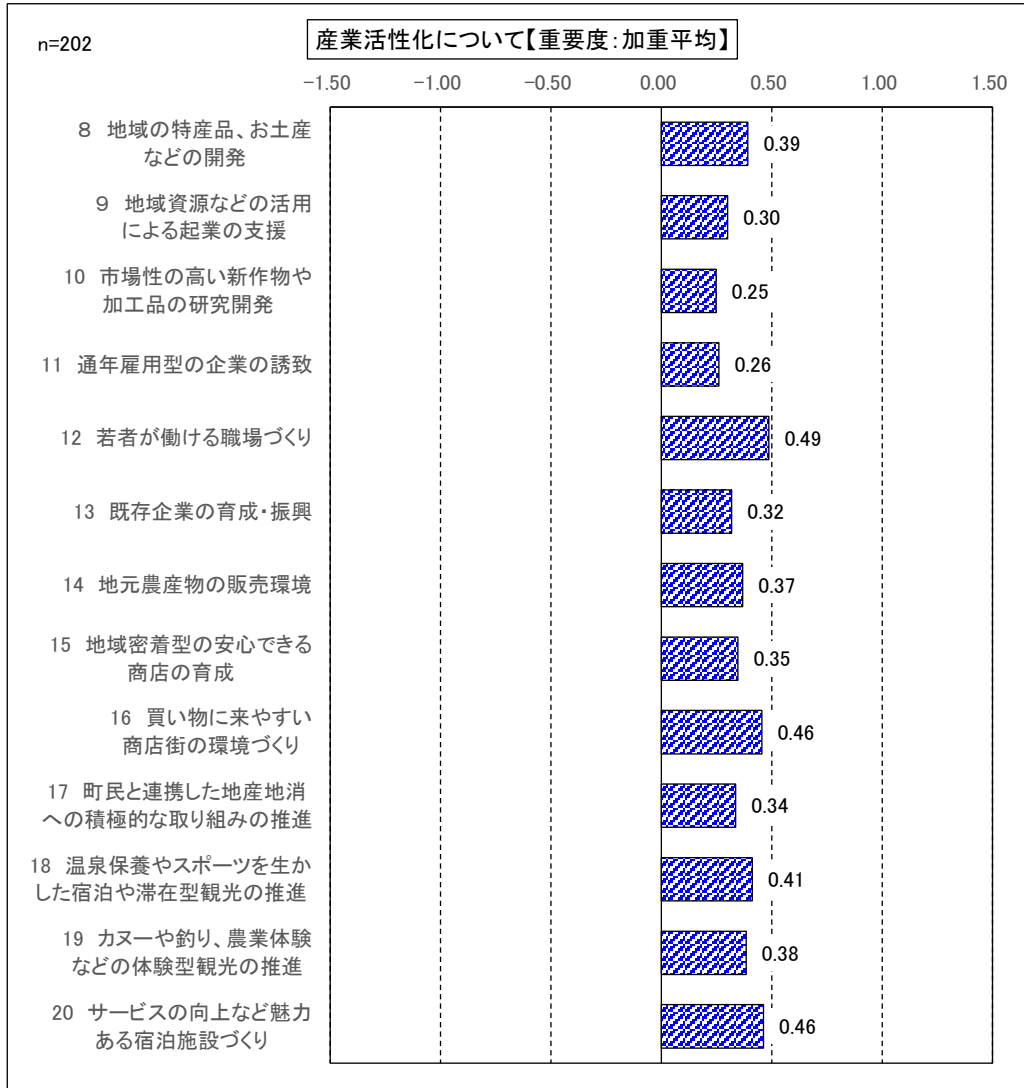
本町の「産業活性化」について設定している13項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに“重要である”への回答が多い結果となっていますが、「12 若者が働ける職場づくり」及び「20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり」への回答が比較的多い結果となっています。





[全体：重要度（加重平均）]

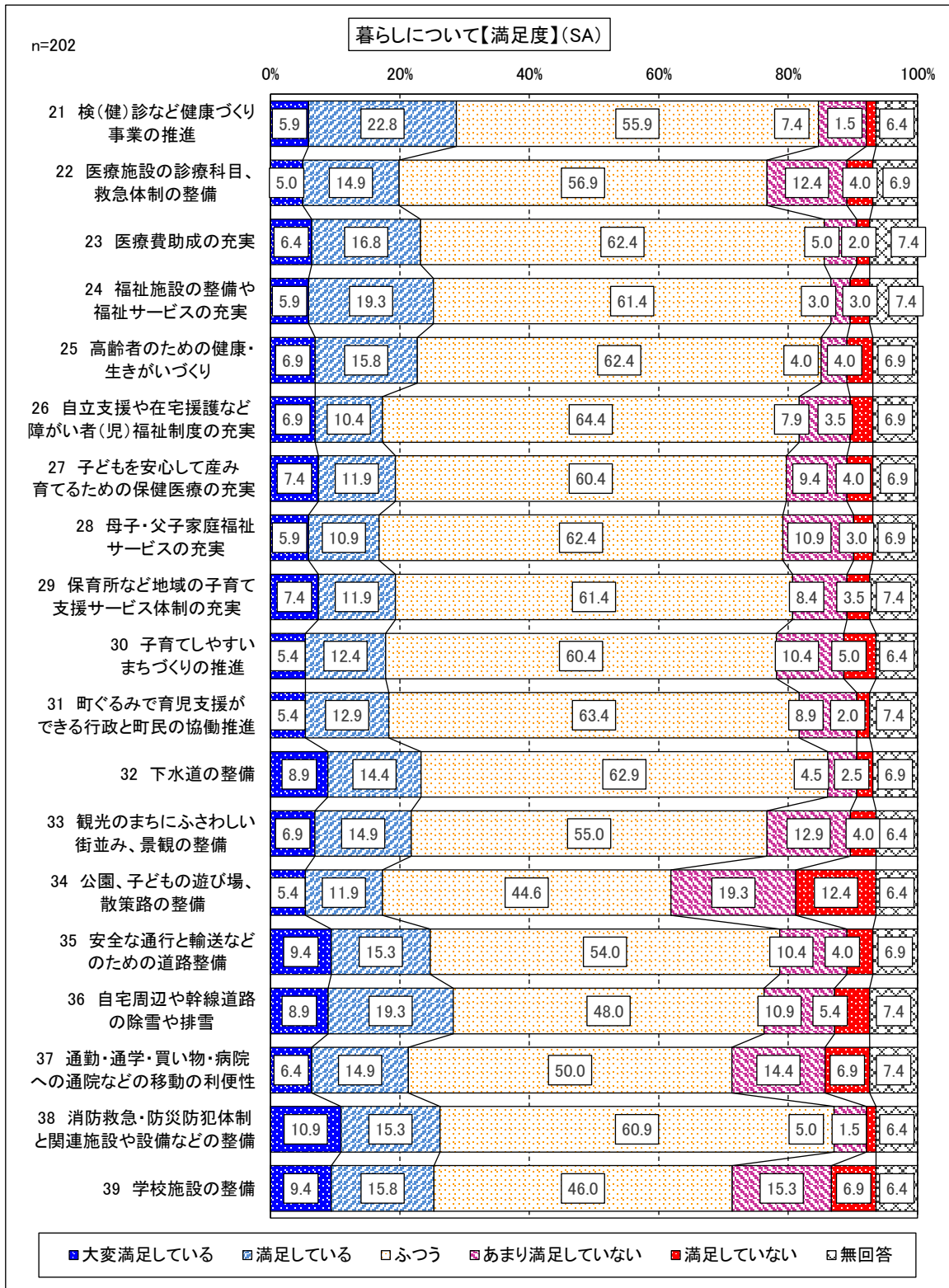
加重平均値の結果は以下の通りです。



## 【暮らしについて】

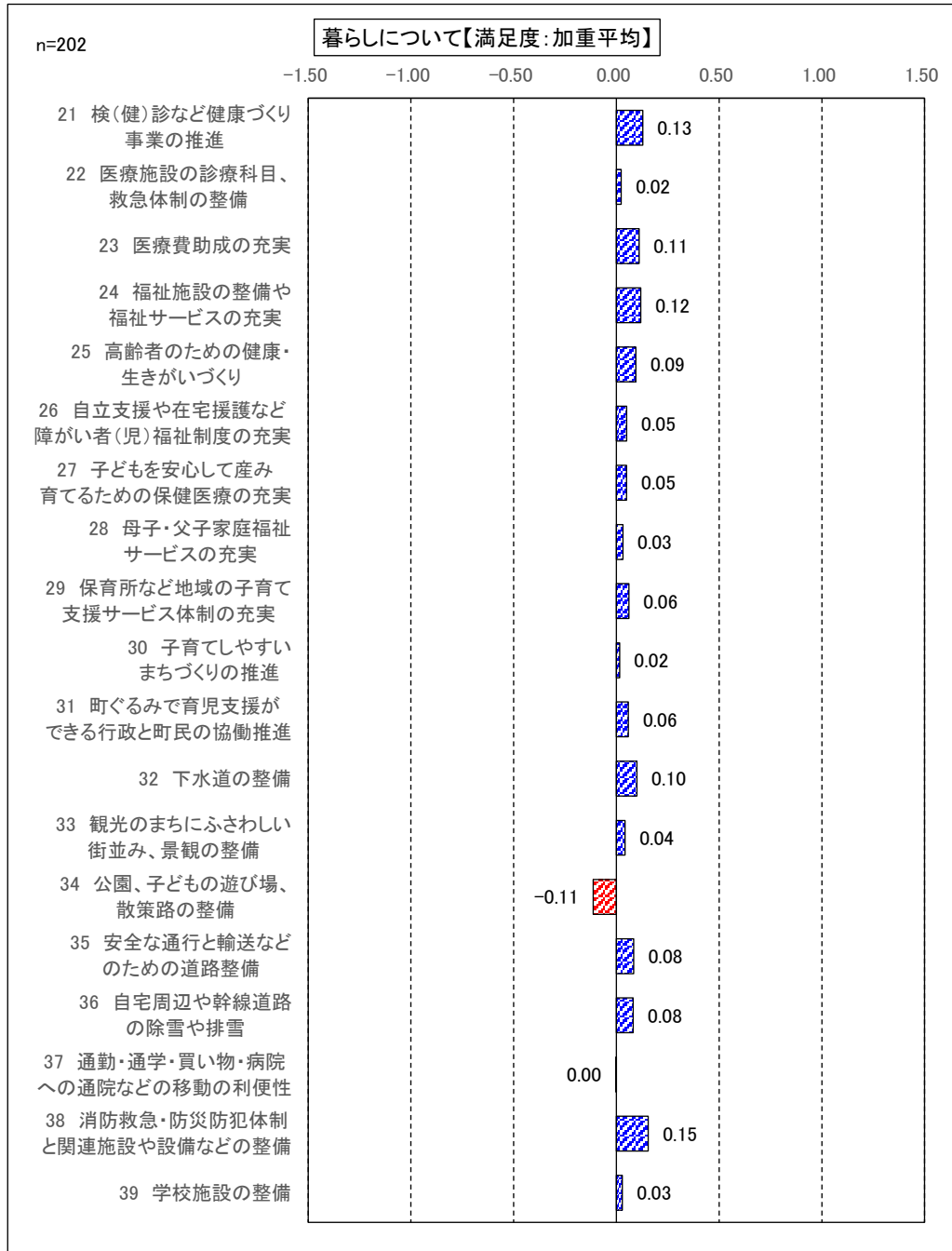
〔全体：満足度〕

本町の「暮らし」について設定している19項目の「満足度」についての回答結果は、「34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備」、「37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性」、及び「39 学校施設の整備」への“満足していない”回答が多少多い結果となっています。



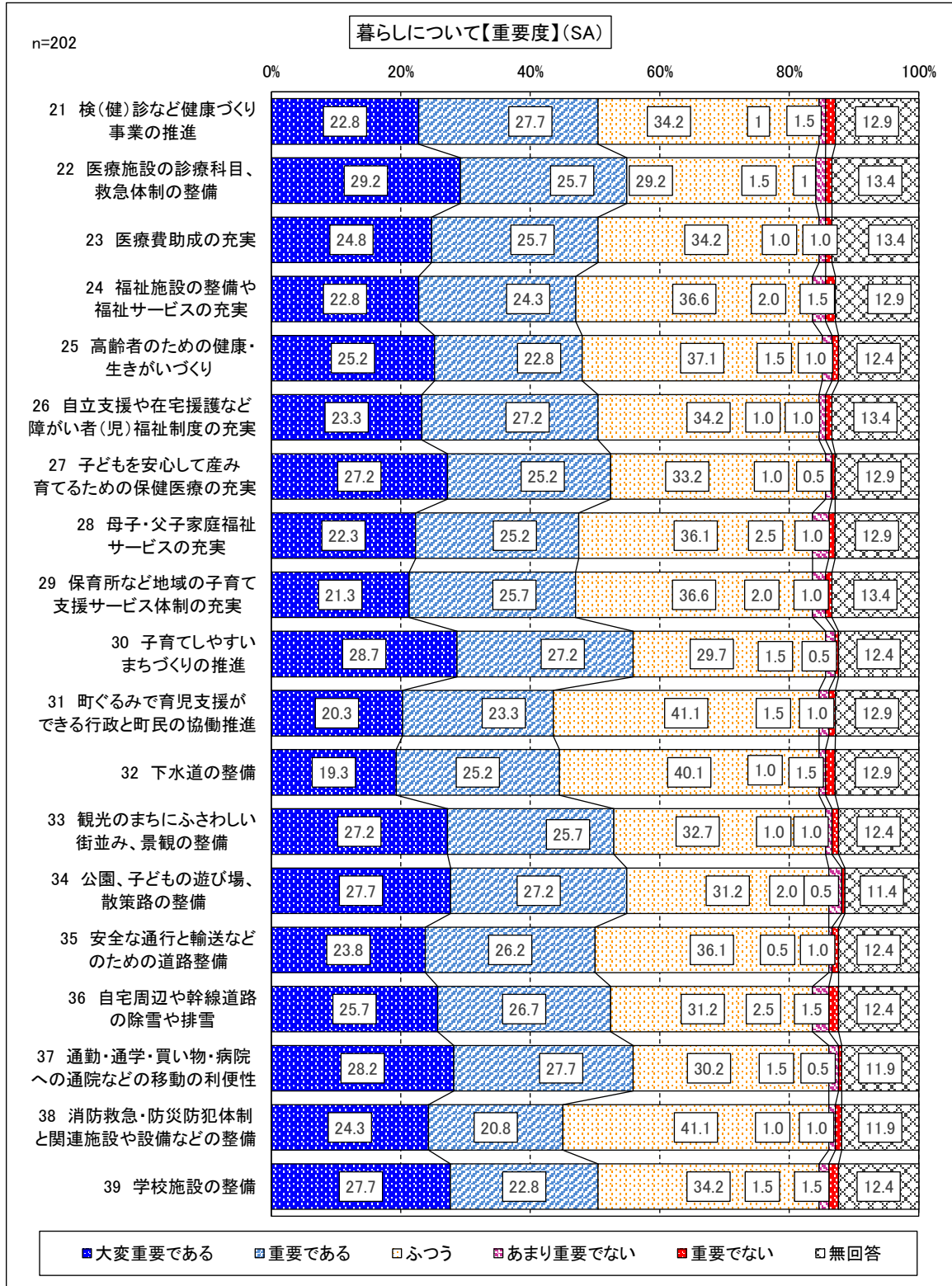
[全体：満足度（加重平均）]

加重平均値の結果は以下の通りです。



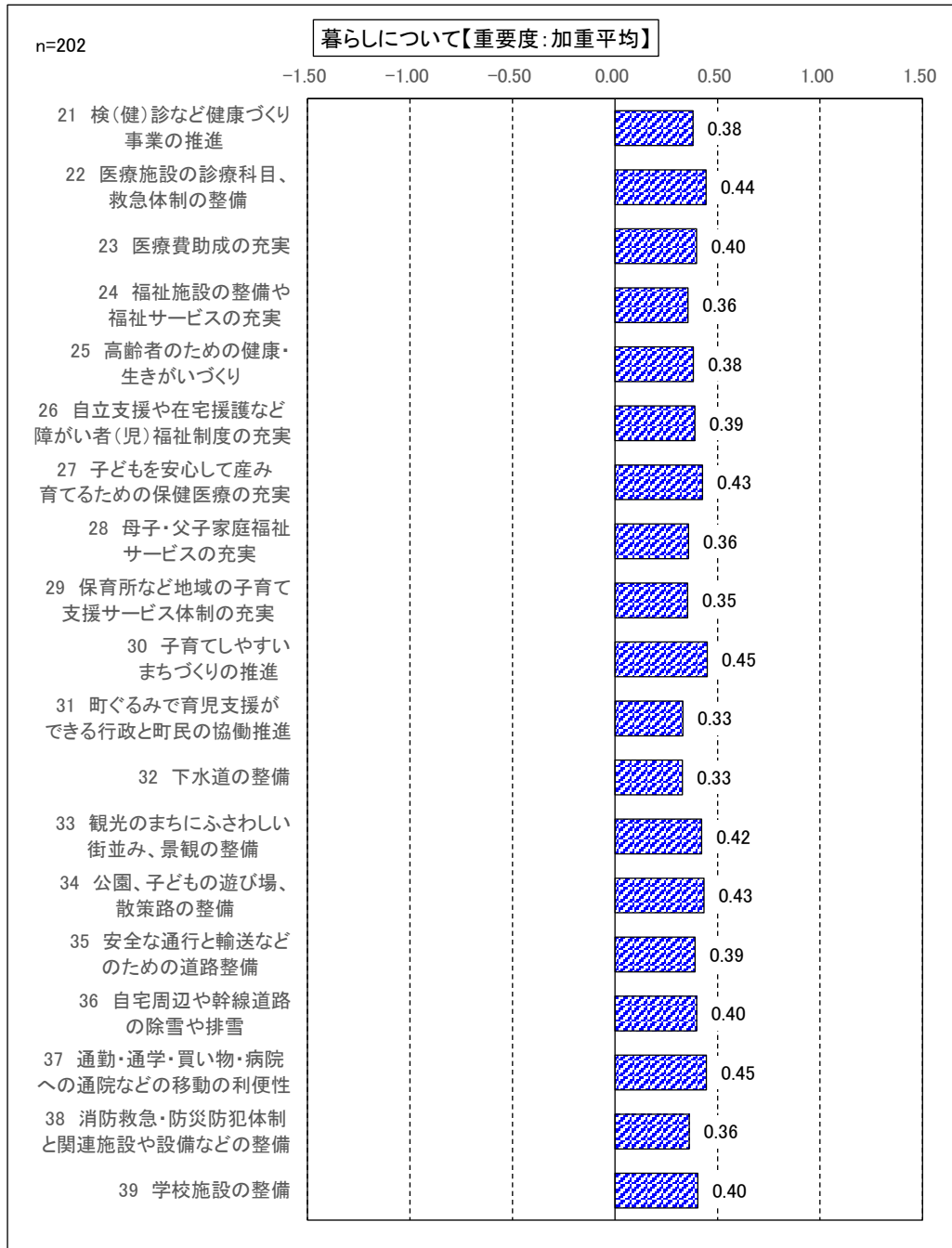
〔全体：重要度〕

本町の「暮らし」について設定している19項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに“重要である”への回答が多い結果となっていますが、「22 医療施設の診療科目、救急体制の整備」、「30 子育てしやすいまちづくりの推進」、「34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備」、及び「37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性」への回答が多少多い結果となっています。



[全体：重要度（加重平均）]

加重平均値の結果は以下の通りです。

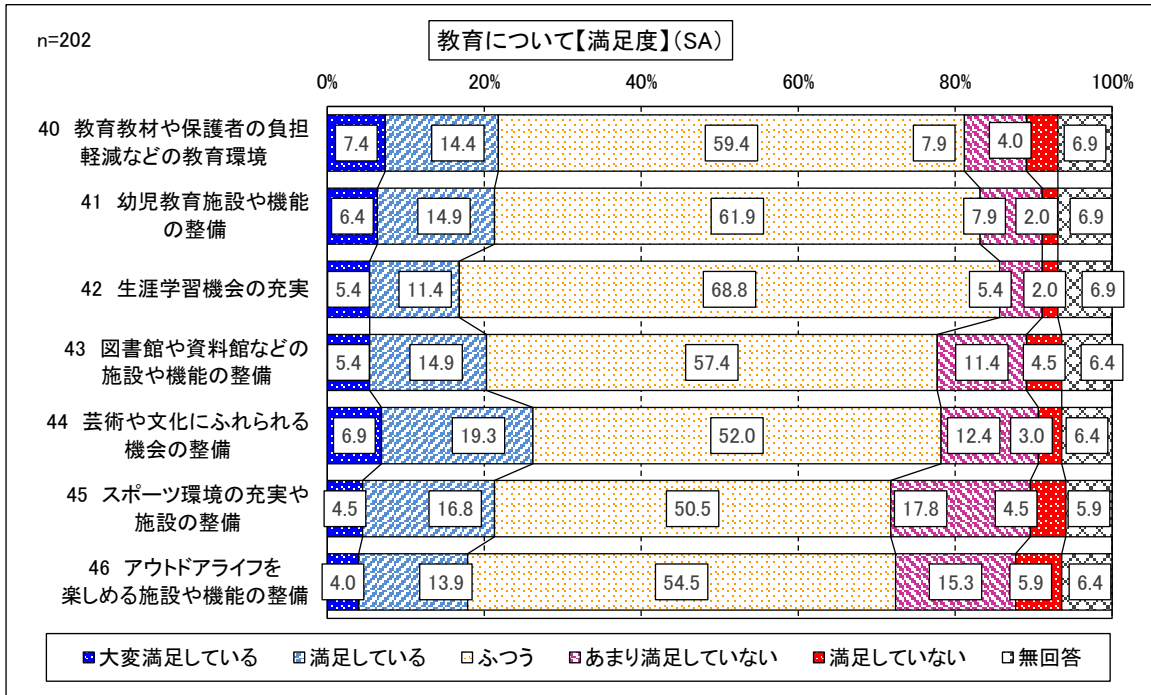


【教育について】

〔全体：満足度〕

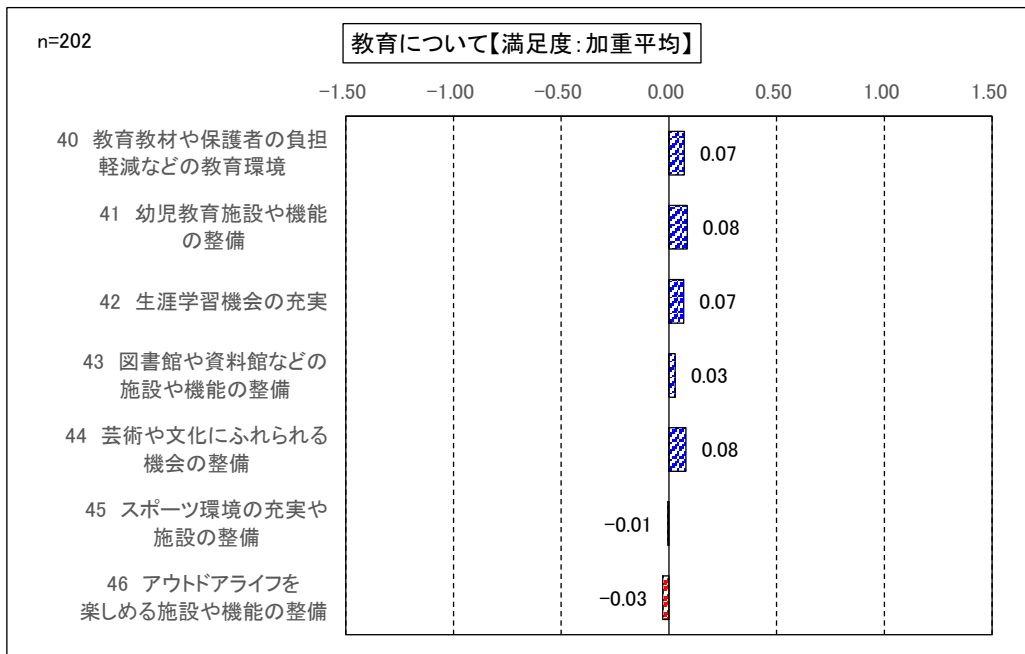
本町の「教育」について設定している7項目の「満足度」についての回答結果は、「45 スポーツ環境の充実や施設の整備」及び「46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備」への“満足していない”回答が多少多い結果となっています。

〔全体：満足度〕



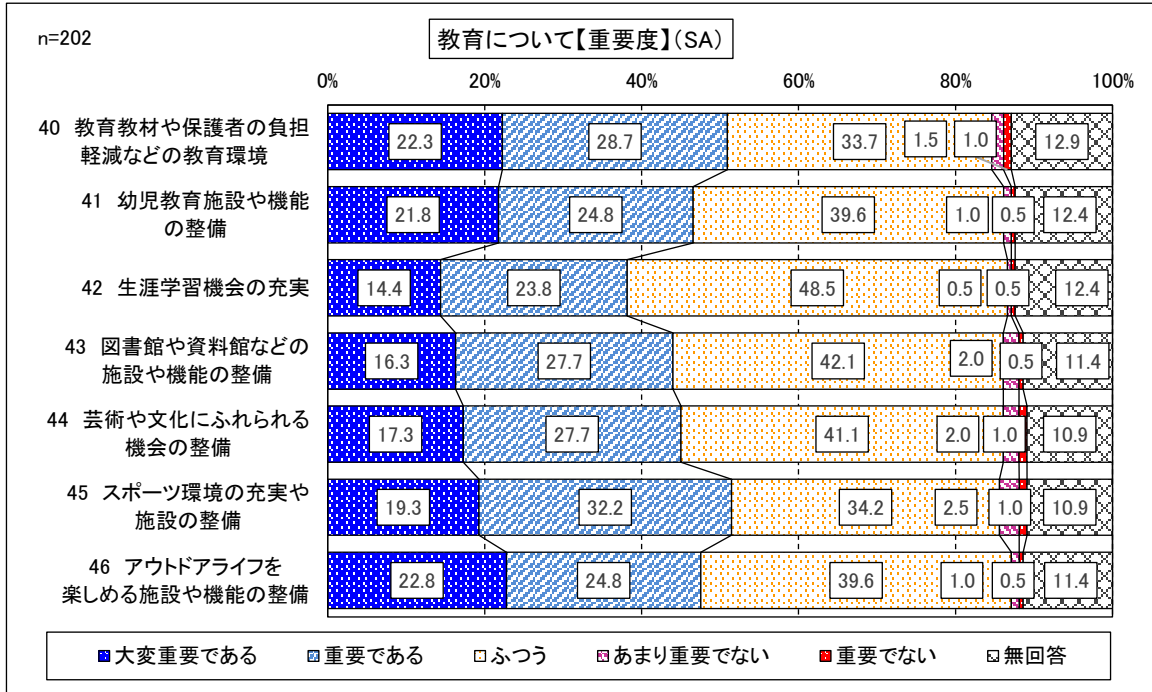
〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



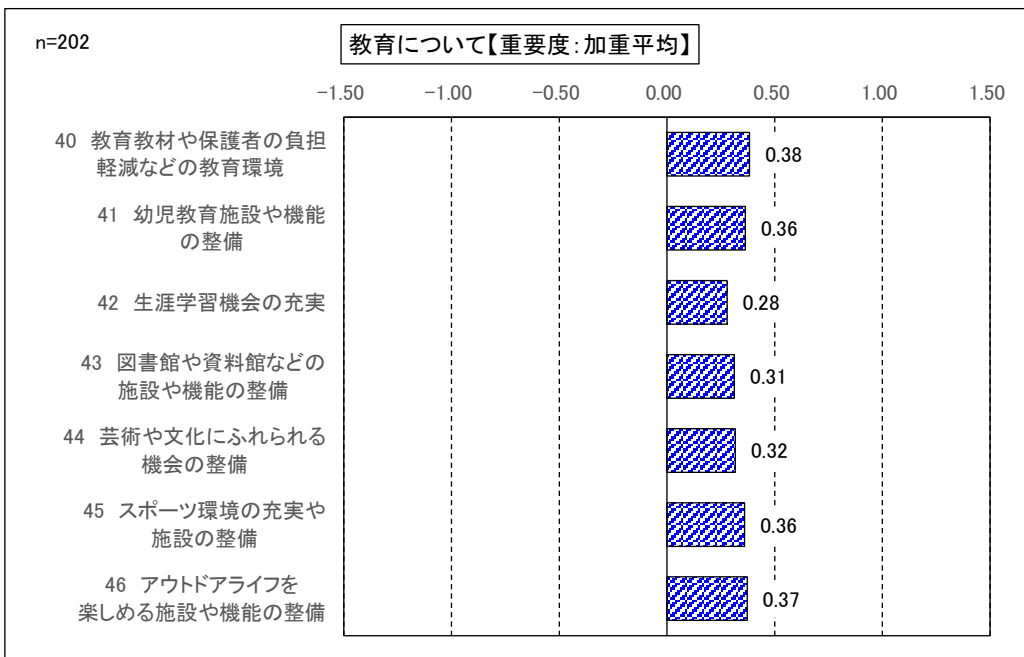
〔全体：重要度〕

本町の「教育」について設定している7項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに“重要である”への回答が多い結果となっていますが、「42 生涯学習機会の充実」への回答割合が多少少ない結果となっています。



〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



## ■ 町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析

町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析を行うにあたり、46項目の「満足度」及び「重要度」の加重平均値を一覧にすると、以下のとおりです。

[全項目：加重平均値スコア（%）]

		満足度	重要度
【環境】	1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	0.34	0.54
	2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	0.15	0.43
	3 緑化や花いっぱい運動などの推進	0.17	0.23
	4 自然開発におけるルールづくりの推進	0.16	0.32
	5 省資源や省エネルギー化の推進	0.14	0.37
	6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	0.20	0.43
	7 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓発	0.14	0.43
【産業活性化】	8 地域の特産品、お土産などの開発	0.12	0.39
	9 地域資源などの活用による起業の支援	0.09	0.30
	10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	0.06	0.25
	11 通年雇用型の企業の誘致	0.03	0.26
	12 若者が働ける職場づくり	-0.11	0.49
	13 既存企業の育成・振興	0.04	0.32
	14 地元農産物の販売環境	0.11	0.37
	15 地域密着型の安心できる商店の育成	0.08	0.35
	16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	-0.07	0.46
	17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	0.13	0.34
	18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	0.01	0.41
	19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	0.21	0.38
	20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	-0.02	0.46
【暮らし】	21 検（健）診など健康づくり事業の推進	0.13	0.38
	22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	0.02	0.44
	23 医療費助成の充実	0.11	0.40
	24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	0.12	0.36
	25 高齢者のための健康・生きがいづくり	0.09	0.38
	26 自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実	0.05	0.39
	27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	0.05	0.43
	28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	0.03	0.36
	29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	0.06	0.35
	30 子育てしやすいまちづくりの推進	0.02	0.45
	31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進	0.06	0.33
	32 下水道の整備	0.10	0.33
	33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	0.04	0.42
	34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	-0.11	0.43
	35 安全な通行と輸送などのための道路整備	0.08	0.39
	36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	0.08	0.40
	37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	0.00	0.45
	38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	0.15	0.36
	39 学校施設の整備	0.03	0.40



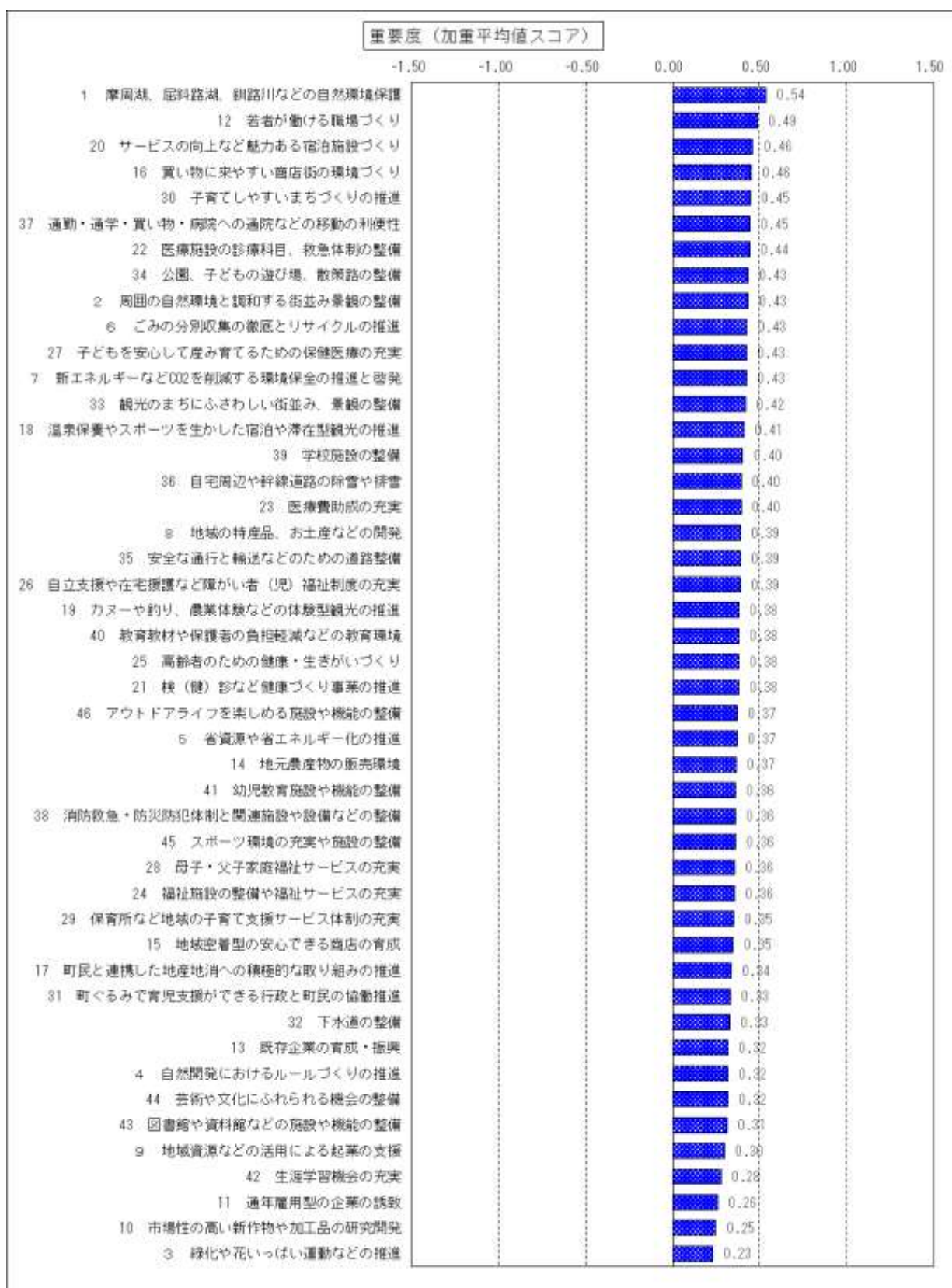
		満足度	重要度
【教育】	40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	0.07	0.38
	41 幼児教育施設や機能の整備	0.08	0.36
	42 生涯学習機会の充実	0.07	0.28
	43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	0.03	0.31
	44 芸術や文化にふれられる機会の整備	0.08	0.32
	45 スポーツ環境の充実や施設の整備	-0.01	0.36
	46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	-0.03	0.37
平均		0.07	0.38

また、46 項目の「満足度」及び「重要度」の加重平均値をグラフにすると、以下のとおりです。

[全項目：満足度スコア（%）]

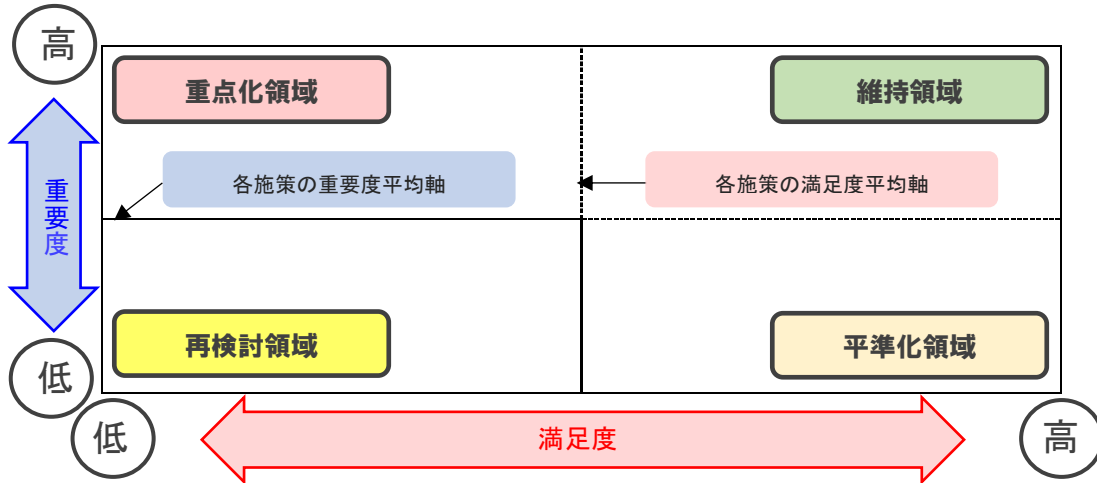


[全項目：重視度スコア（%）]



以上の結果について、満足度スコアを横軸に、重要度を縦軸にとり、各調査項目の数値を座標点として「マトリックスグラフ」とすると、次頁以下となります。

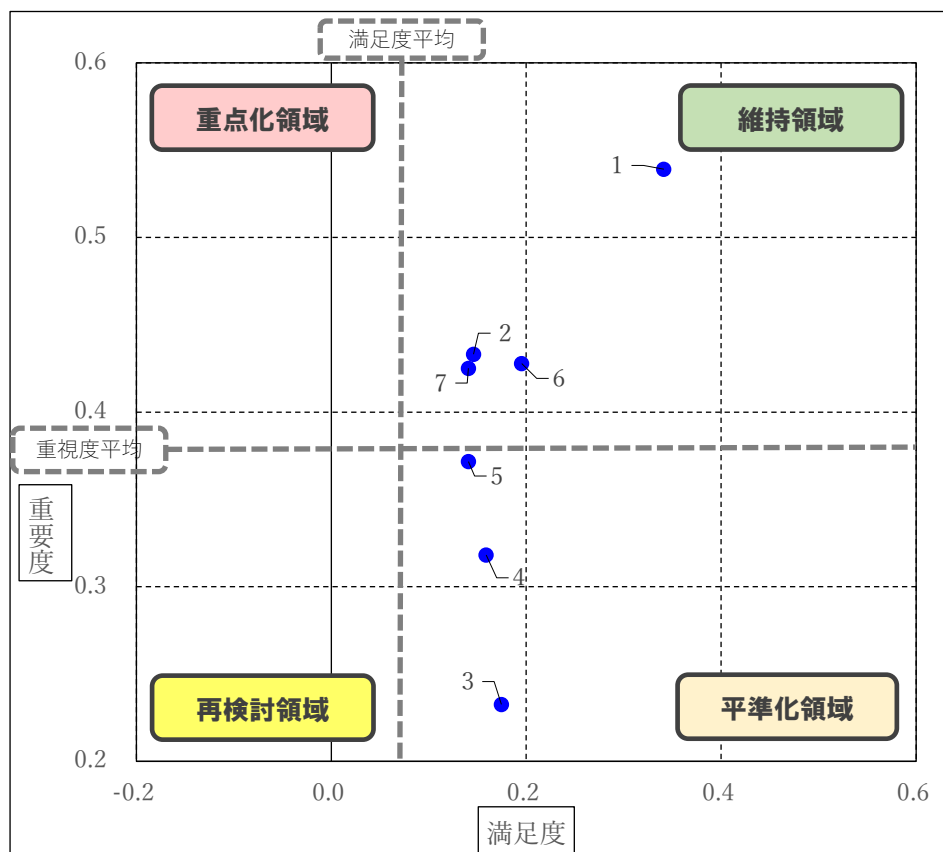
また、グラフ中の横軸、縦軸については満足度・重要度スコアの平均値をあらわしており、マトリックスグラフによって各項目を配置していくと、各項目は以下の4つの領域に位置づけられます。



上記4つの領域ごとに、今後の取り組みは異なります。一般に、領域ごとに必要と考えられる対応は、以下のとおりです。

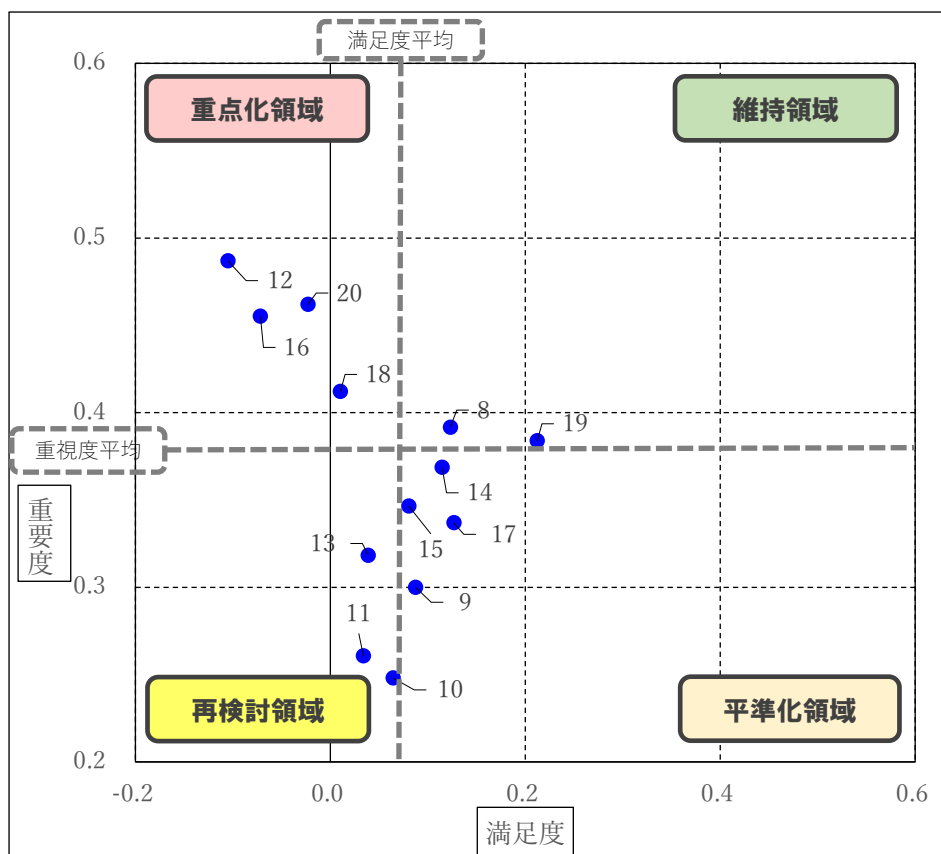
維持領域	重要度も満足度も高い領域であり、ここに含まれる施策は、現在の水準を維持すればよい施策と考えることができます。
平準化領域	満足度は高いものの重要度は低い領域であり、その施策の水準について改めて検討を行う必要がある項目であると考えられます。
重点化領域	満足度が低く、重要度が高い領域であり、ここに含まれる施策は、中学生・高校生は弟子屈町のまちづくりにとって重要だと思っているものの、満足していない傾向にあり、今度積極的に対応すべき項目であると考えられます。
再検討領域	重要度も満足度も低い領域であり、その施策のあり方を含めて、改めて検討することが必要であると考えられる項目です。

【マトリックスグラフ【環境】】



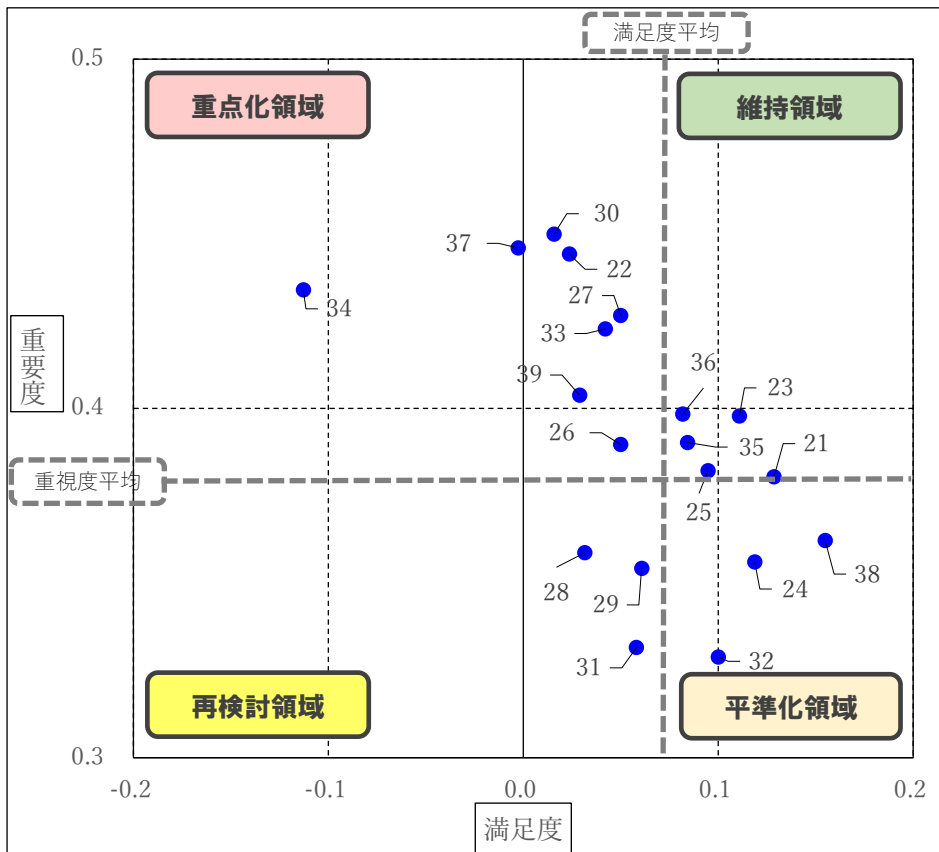
		満足度	重要度
【環境】	1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	0.34	0.54
	2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	0.15	0.43
	3 緑化や花いっぱい運動などの推進	0.17	0.23
	4 自然開発におけるルールづくりの推進	0.16	0.32
	5 省資源や省エネルギー化の推進	0.14	0.37
	6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	0.20	0.43
	7 新エネルギーなど CO2 を削減する環境保全の推進と啓発	0.14	0.43

〔マトリックスグラフ【産業活性化】〕



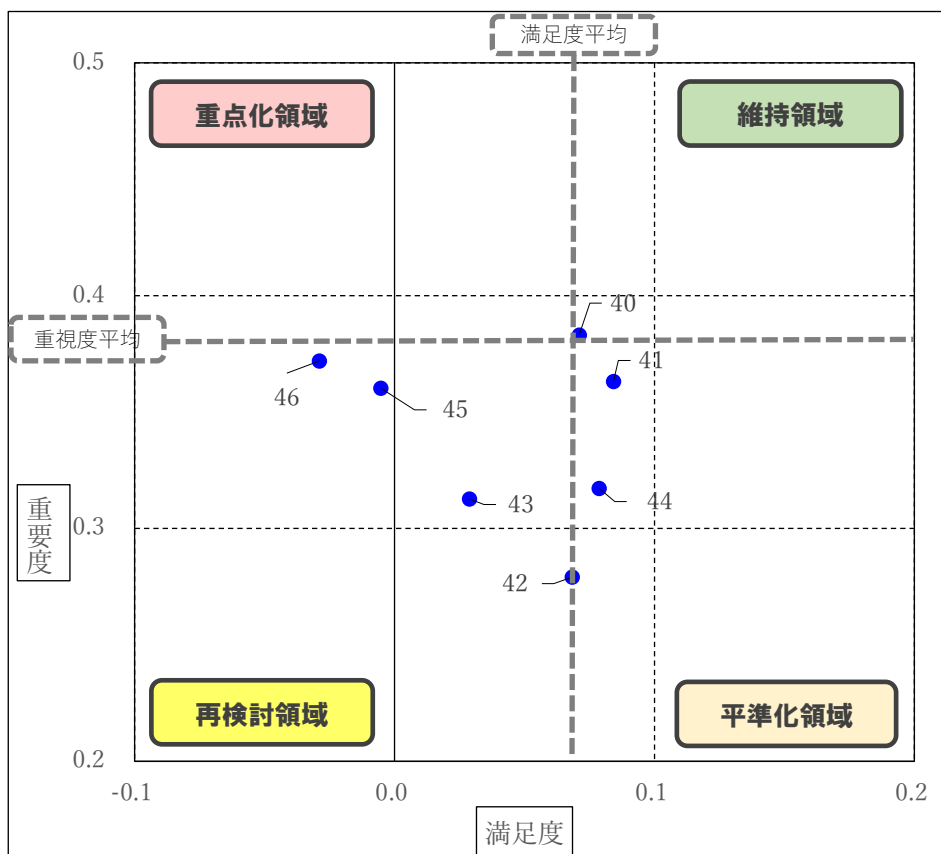
		満足度	重要度
<b>【産業活性化】</b>	8 地域の特産品、お土産などの開発	0.12	0.39
	9 地域資源などの活用による起業の支援	0.09	0.30
	10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	0.06	0.25
	11 通年雇用型の企業の誘致	0.03	0.26
	12 若者が働ける職場づくり	-0.11	0.49
	13 既存企業の育成・振興	0.04	0.32
	14 地元農産物の販売環境	0.11	0.37
	15 地域密着型の安心できる商店の育成	0.08	0.35
	16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	-0.07	0.46
	17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	0.13	0.34
	18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	0.01	0.41
	19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	0.21	0.38
	20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	-0.02	0.46

〔マトリックスグラフ【暮らし】〕



		満足度	重要度
【暮らし】	21 検（健）診など健康づくり事業の推進	0.13	0.38
	22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	0.02	0.44
	23 医療費助成の充実	0.11	0.40
	24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	0.12	0.36
	25 高齢者のための健康・生きがいづくり	0.09	0.38
	26 自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実	0.05	0.39
	27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	0.05	0.43
	28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	0.03	0.36
	29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	0.06	0.35
	30 子育てしやすいまちづくりの推進	0.02	0.45
	31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進	0.06	0.33
	32 下水道の整備	0.10	0.33
	33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	0.04	0.42
	34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	-0.11	0.43
	35 安全な通行と輸送などのための道路整備	0.08	0.39
	36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	0.08	0.40
	37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	0.00	0.45
	38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	0.15	0.36
	39 学校施設の整備	0.03	0.40

【マトリックスグラフ【教育】】



		満足度	重要度
【教育】	40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	0.07	0.38
	41 幼児教育施設や機能の整備	0.08	0.36
	42 生涯学習機会の充実	0.07	0.28
	43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	0.03	0.31
	44 芸術や文化にふれられる機会の整備	0.08	0.32
	45 スポーツ環境の充実や施設の整備	-0.01	0.36
	46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	-0.03	0.37



以上の結果から、上記4つの領域それぞれに、以下の項目が区分される結果となっています。

### 維持領域

項 目	
1	摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護
2	周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備
6	ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進
7	新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓発
8	地域の特産品、お土産などの開発
19	カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進
21	検（健）診など健康づくり事業の推進
23	医療費助成の充実
25	高齢者のための健康・生きがいつくり
35	安全な通行と輸送などのための道路整備
36	自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪
40	教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境

### 平準化領域

項 目	
3	緑化や花いっぱい運動などの推進
4	自然開発におけるルールづくりの推進
5	省資源や省エネルギー化の推進
9	地域資源などの活用による起業の支援
14	地元農産物の販売環境
15	地域密着型の安心できる商店の育成
17	町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進
24	福祉施設の整備や福祉サービスの充実
32	下水道の整備
38	消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備
41	幼児教育施設や機能の整備
44	芸術や文化にふれられる機会の整備

**重点化領域**

項 目
12 若者が働ける職場づくり
16 買い物にしやすい商店街の環境づくり
18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進
20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり
22 医療施設の診療科目、救急体制の整備
26 自立支援や在宅援護など障がい者（児）福祉制度の充実
27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実
30 子育てしやすいまちづくりの推進
33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備
34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備
37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性
39 学校施設の整備

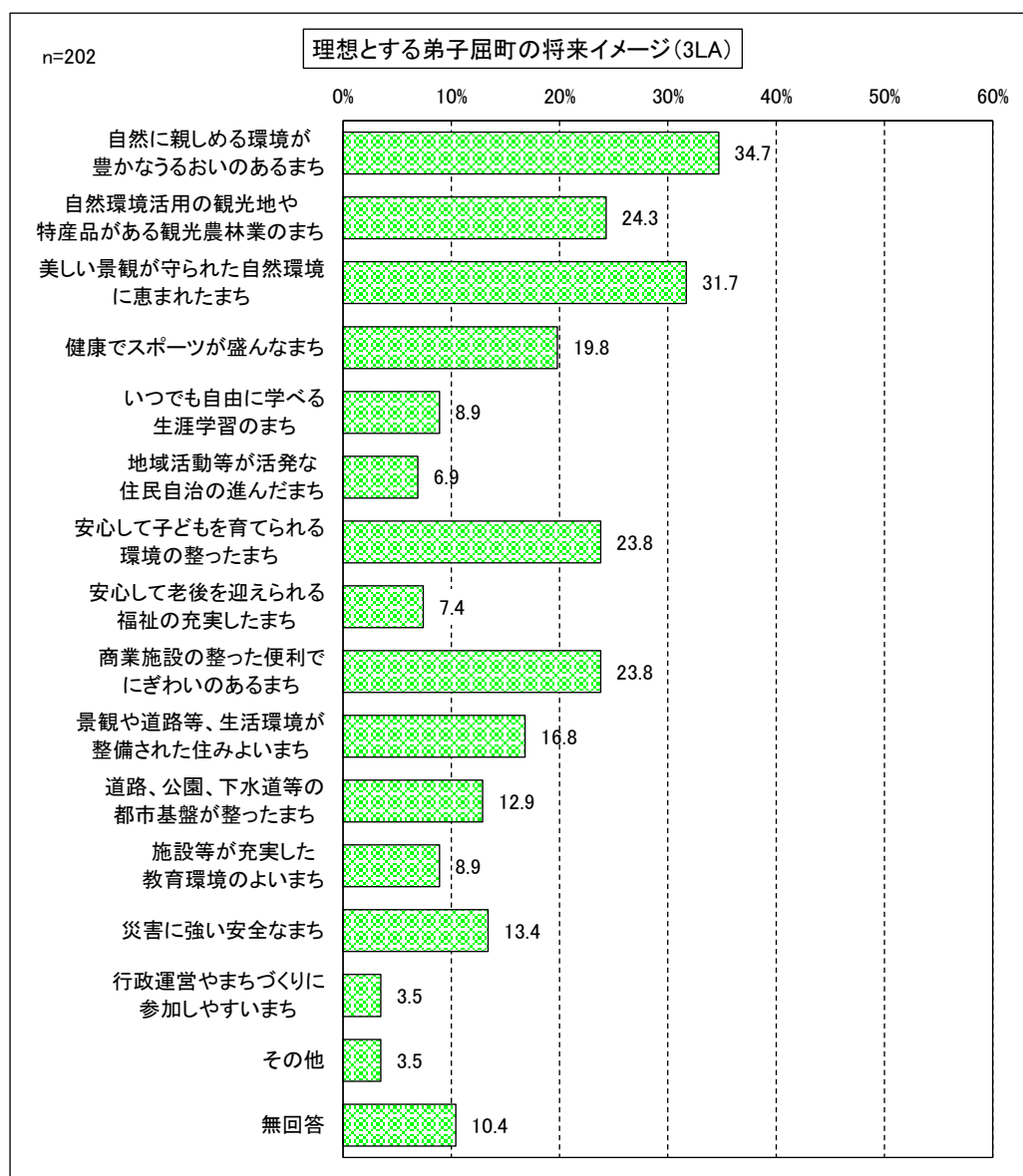
**再検討領域**

項 目
10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発
11 通年雇用型の企業の誘致
13 既存企業の育成・振興
28 母子・父子家庭福祉サービスの充実
29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実
31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進
42 生涯学習機会の充実
43 図書館や資料館などの施設や機能の整備
45 スポーツ環境の充実や施設の整備
46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備

問 22 あなたが持つ、理想とする将来の弟子屈町のイメージはどのようなものですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【全体】

理想とする将来の弟子屈町のイメージとしては、「湖や河川などの自然に親しめる環境が豊かなうるおいのあるまち」への回答割合が 34.7%と最も高く、次いで、「湖や森林など美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち」が 31.7%、「自然環境活用の観光地や特産品がある観光農林業のまち」が、24.3%、「安心して子どもを育てられる環境の整ったまち」及び「商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち」が 23.8%と続いています。



【属性別】

性別では、「女性」に比べ「男性」の「湖や河川などの自然に親しめる環境が豊かなうらおいのあるまち」への回答割合が高い結果となっており、「男性」に比べ「女性」の「商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち」への回答割合が高い結果となっています。

学年別では、「中学2年生」、「中学3年生」と「高校3年生」を除き、「湖や河川などの自然に親しめる環境が豊かなうらおいのあるまち」への回答割合が高い結果となっていますが、「中学3年生」では「自然環境を活用した観光地や山の幸等を使った特産品がある観光農林業のまち」への回答割合が、また、「中学2年生」と「高校3年生」では「商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち」への回答割合が高い結果となっています。

〔性別〕

	自然に親しめる環境が豊かなうらおいのあるまち	自然環境活用の観光地や特産品がある観光農林業のまち	美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち	健康でスポーツが盛んなまち	いつでも自由に学べる生涯学習のまち	地域活動等が活発な住民自治の進んだまち	安心して子どもを育てられる環境の整ったまち	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち	商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち
全体 (n=202)	<b>34.7</b>	24.3	<b>31.7</b>	19.8	8.9	6.9	23.8	7.4	23.8
男性 (n=94)	<b>42.6</b>	26.6	<b>33.0</b>	27.7	5.3	8.5	22.3	4.3	14.9
女性 (n=104)	26.0	21.2	<b>28.8</b>	13.5	12.5	5.8	26.0	10.6	<b>32.7</b>
無回答 (n=4)	75.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	景観や道路等、生活環境が整備された住みよいまち	道路、公園、下水道等の都市基盤が整ったまち	施設等が充実した教育環境のよいまち	災害に強い安全なまち	行政運営やまちづくりに参加しやすいまち	その他	無回答
全体 (n=202)	16.8	12.9	8.9	13.4	3.5	3.5	10.4
男性 (n=94)	8.5	10.6	6.4	16.0	3.2	4.3	10.6
女性 (n=104)	25.0	15.4	11.5	11.5	3.8	1.9	9.6
無回答 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔学年別〕

	自然に親しめる環境が豊かなうらおいのあるまち	自然環境活用の観光地や特産品がある観光農林業のまち	美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち	健康でスポーツが盛んなまち	いつでも自由に学べる生涯学習のまち	地域活動等が活発な住民自治の進んだまち	安心して子どもを育てられる環境の整ったまち	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち	商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち
全体 (n=202)	<b>34.7</b>	24.3	<b>31.7</b>	19.8	8.9	6.9	23.8	7.4	23.8
中学1年生 (n=41)	<b>46.3</b>	22.0	<b>36.6</b>	19.5	9.8	2.4	17.1	0.0	14.6
中学2年生 (n=45)	26.7	20.0	31.1	11.1	11.1	4.4	<b>28.9</b>	6.7	<b>33.3</b>
中学3年生 (n=42)	<b>31.0</b>	<b>33.3</b>	31.0	26.2	7.1	11.9	16.7	7.1	21.4
高校1年生 (n=25)	<b>44.0</b>	28.0	<b>32.0</b>	24.0	8.0	4.0	20.0	8.0	16.0
高校2年生 (n=25)	<b>36.0</b>	20.0	32.0	24.0	12.0	16.0	24.0	8.0	<b>28.0</b>
高校3年生 (n=24)	<b>25.0</b>	20.8	<b>25.0</b>	16.7	4.2	4.2	41.7	20.8	<b>29.2</b>

	景観や道路等、生活環境が整備された住みよいまち	道路、公園、下水道等の都市基盤が整ったまち	施設等が充実した教育環境のよいまち	災害に強い安全なまち	行政運営やまちづくりに参加しやすいまち	その他	無回答
全体 (n=202)	16.8	12.9	8.9	13.4	3.5	3.5	10.4
中学1年生 (n=41)	12.2	9.8	2.4	12.2	2.4	7.3	17.1
中学2年生 (n=45)	17.8	22.2	15.6	20.0	2.2	2.2	6.7
中学3年生 (n=42)	16.7	9.5	11.9	11.9	2.4	7.1	7.1
高校1年生 (n=25)	20.0	4.0	8.0	20.0	12.0	0.0	8.0
高校2年生 (n=25)	12.0	8.0	0.0	8.0	4.0	0.0	12.0
高校3年生 (n=24)	<b>25.0</b>	20.8	12.5	4.2	0.0	0.0	12.5

※学年別の無回答者はない (n=0) ので、表記していない。

## 5 町への意見や希望

問 23 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を下欄に自由にお書きください。

本町への意見や要望として、アンケート回答者 202 人の 39.1%にあたる 79 人から回答をいただきました。

回答の傾向を見ると、子どもも楽しめる施設や商業施設の充実を求める意見が出されている他、景観を乱す施設や老朽化した建物に対する懸念もいくつか出されています。

### 〔意見例〕

- ・弟子屈町はすごく魅力的な町だし自然豊かでいい町だと思います。でも昔は公園で遊ぶ人がいたのですが今は少し減少したのかなと感じます。(略) 子どもも満足できる町づくりはすごくいいことだと個人的に思います。今よりもより良い町になることを願います。(中学1年生、女子)
- ・人口を増やすためにたくさんの方がいいことがあると思う。(中学1年生、男子)
- ・動かなきゃなにも始まらないし変わらないと思うので行動することが大切だと思います。(中学2年生、男子)
- ・子どもが遊ぶ施設がないという点で、他の町に出かけたりするので子どもが弟子屈のためにお金を使わない。だから発展しないのではないかと思います。学べる施設づくり。図書館などでは学べる範囲が限られていてあまり集中できない。なので気軽に勉強することができる施設があってくると嬉しいです。(中学2年生、女子)
- ・ソーラーパネルを建てないで下さい。本当にあの板はきもいです。あの土地を町で買って、ソーラーパネルを剥がして木を植えて下さい。このままだと弟子屈の土地はソーラーパネルで覆われますよ。本気考えて下さい。(中学3年生、男子)
- ・もっと若い人たちの声を聴いてはどうでしょうか。今の弟子屈はファストフード店がありません。ファストフード店など何か1つ若者が集まりそうなお店を増やした方がいいと思います。(高校1年生、女子)
- ・使わない建物は積極的に壊していった方が良くと思います。町に古いボロボロの建物があるだけで町の印象が下がるし、今壊さなかったらずっと残ってしまう気がしました。お金はかかるとは思いますが外観を良くするには壊さないといけないと思います。(高校2年生、女子)
- ・学生でも入れる娯楽施設の創設と働く場を増やすべきだと思います。また弟子屈町は北海道でもトップクラスの税金の高さなのでそこも改善すべきだと思います。(高校3年生、男子)
- ・商業施設などを増やして利用者も労働者にとっても住みやすい町になって欲しいです。そこで高校生もアルバイトできるようになれば学生にとっても嬉しいと思います。(高校3年生、女子)
- ・子育てする人たちや小さい子どもたちにとって安心して過ごすことのできる町にしたらいいいと思います。(高校3年生、女子)

「第6次弟子屈町総合計画」及び「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」  
策定に向けて

## 弟子屈町 中学生・高校生アンケート調査

にご協力をお願いします。

平素より、本町の行政運営にあたりましては中学生・高校生の皆さんにもご協力をいただき、誠に有り難うございます。

現在、国や本町においては人口の急激な減少や少子・高齢化、環境共生、国土強靱化、国際化、情報化、さらには新型コロナウイルス感染症などへの対応、経済対策など、皆さんにも関係する重要な課題が目白押しとなっています。

現在、弟子屈町では、「第6次弟子屈町総合計画」及び「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」の見直しに向けて準備を進めています。

令和4（2022）年度から新たに始まる『第6次弟子屈町総合計画』は、本町のまちづくりを進める上での大きな指針となるものであり、行政運営の最上位計画と位置付けられています。

また、同じく令和4（2022）年度から新たに始まる「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」は、本町における人口減少や若い世代の雇用、結婚、子育て等の課題解決を図り、魅力的な地域の創生を推進するため、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」、及び地域の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「創生戦略」から成るものです。

このアンケート調査は、これからのまちづくりを支えていただく中学生・高校生の皆さんの意見をお聞きし、新しい計画の貴重な資料として活用させていただくため、幅広く回答いただく内容となっています。

そのため、中学生・高校生の皆さんにおかれましては、将来の弟子屈町のために、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年1月吉日

弟子屈町長 徳永 哲雄

### ご記入に際して

1. 本アンケートは、本町に居住する中学生・高校生300名を対象としています。
2. 該当する選択肢の番号を○印で囲んでください。
3. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、先生に提出してください。
4. アンケート票は機械的に処理されますので、回答する皆さんが特定されることはありません。
5. 記入の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 弟子屈町 まちづくり政策課 政策調整係 担当 鶴田・大井

TEL 015 (482) 2913

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの学年をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 中学1年生 | 2. 中学2年生 | 3. 中学3年生 |
| 4. 高校1年生 | 5. 高校2年生 | 6. 高校3年生 |

問3 あなたは、弟子屈町が好きですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                   |                  |          |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. 好きである          | 2. どちらかといえば好きである | 3. わからない |
| 4. どちらかといえば好きではない | 5. 好きではない        |          |

問4 弟子屈町はあなたにとって住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                 |        |
|------------------|-----------------|--------|
| 1. 住みよい          | 2. どちらかといえば住みよい | 3. ふつう |
| 4. あまり住みよいとは言えない | 5. 住みにくい        |        |

問5 あなたは将来も弟子屈町に住みたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. ずっと住みたい | 2. ある程度住みたい | 3. できれば転居したい |
| 4. 転居したい   | 5. わからない    |              |

問6 問5で「3. できれば転居したい」または「4. 転居したい」と答えた方におたずねします。転居したい理由は何ですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 生活に不便がある   | 2. 自然環境が悪い         |
| 3. 文化・教育環境が悪い | 4. 通学に時間がかかる       |
| 5. 道路事情が悪い    | 6. バスや鉄道等の利便性が悪い   |
| 7. 隣近所との人間関係  | 8. 町への愛着や郷土意識が持てない |
| 9. 働く場所や仕事がない | 10. 娯楽施設がない        |
| 11. その他 ( )   |                    |



問7 現段階での高校卒業後の進路は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |
|-------|
| 1. 就職 |
| 2. 進学 |

問8 あなたが現段階で希望する仕事（業種）は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                 |                 |                        |
|---------------------------------|-----------------|------------------------|
| 1. 農業                           | 2. 林業           | 3. 水産業                 |
| 4. 建設・土木業                       | 5. 電気・ガス        | 6. IT産業                |
| 7. マスコミ                         | 8. 運輸・流通        | 9. 卸・小売                |
| 10. 金融・保険                       | 11. 不動産         | 12. 教育・学習              |
| 13. 医療                          | 14. 介護・福祉       | 15. 医薬・化学              |
| 16. 国家公務員                       | 17. 地方公務員       | 18. 食料品製造              |
| 19. 紙・パルプ製造                     | 20. 金属・非鉄製品製造   | 21. 一般・電気機械器具製造        |
| 22. 情報通信機械器具製造                  | 23. 電子部品・デバイス製造 | 24. その他製造業             |
| 25. 学術研究・専門技術サービス<br>(弁護士、会計士等) | 26. 宿泊・飲食サービス   | 27. 生活関連サービス<br>(理美容等) |
| 28. 複合サービス<br>(郵便局・農協等)         | 29. その他 ( )     |                        |

問9 あなたが現段階で希望する就職地はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
※はつきりと決まっていない場合もありますが、現時点で希望する場所を選んでください。  
※「2. 道内の他市町」及び「3. 道外」を選択された方は、回答欄に市町名または都道府県名を記入してください。

- |           |   |               |        |
|-----------|---|---------------|--------|
| 1. 町内     | → | ※問10へ         |        |
| 2. 道内の他市町 | → | 回答欄 ( ) 市・町   | →※問11へ |
| 3. 道外     | → | 回答欄 ( ) 都・府・県 | →※問11へ |

問10 問9で「1. 町内」を選択した方におたずねします。「1. 町内」を選択した理由は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 住んでいる地域が好きだから     | 2. 住んでいる地域に貢献したいから   |
| 3. 住み慣れた地域にいたいから     | 4. 希望する就職先があるから・近いから |
| 5. 家業を継ぐ予定だから        | 6. 起業したいから           |
| 7. 町外で生活するには費用がかかるから | 8. 親と同居または近くで暮らしたいから |
| 9. 親の意向だから           | 10. 友人・知人がいるから       |
| 11. その他 ( )          |                      |

※回答後は、問16へお進みください。

問 11 問 9 で「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した方におたずねします。「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した理由は何ですか。あてはまる番号に 3 つまで○をつけてください。

1. 都会で働きたいから	2. 希望する就職先があるから
3. 給料や待遇などの労働条件が良いから	4. 友人・知人がいるから
5. 親の意向だから	6. 親から独立したいから
7. 生活環境・文化が好きだから	8. 自分の専門性を活かせるから
9. 起業したいから	
10. その他 (	)

※回答後は、問 12 へお進みください。

問 12 問 9 で「2. 道内の他市町」または「3. 道外」を選択した方におたずねします。将来、弟子屈町に戻りたいという思いはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある	→※問 13 へ
2. 少しある	→※問 13 へ
3. わからない	→※問 16 へ
4. ない	→※問 16 へ

問 13 問 12 で「1. ある」または「2. 少しある」を選択した方におたずねします。どのような条件・環境を整えば、より弟子屈町に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に 3 つまで○をつけてください。

1. 仕事や就職先の確保	2. 買い物などの日常の利便性
3. イベントの開催等による賑わいの創出	4. バスや鉄道等の公共交通の充実
5. 自然環境の保全・活用	6. 文化・娯楽施設の充実
7. 医療機関の充実	8. 出産・子育て環境の充実
9. 子どもの教育環境の充実	10. 介護など福祉サービスの充実
11. 地震や土砂災害などの防災対策の充実	
12. その他 (	)

※回答後は、問 16 へお進みください。

問 14 問 7 で「2. 進学」を選択した方におたずねします。将来、弟子屈町に戻りたいという思いはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある	→※問 15 へ
2. 少しある	→※問 15 へ
3. わからない	→※問 16 へ
4. ない	→※問 16 へ

問 15 問 14 で「1. ある」または「2. 少しある」を選択した方におたずねします。どのような条件・環境が整えば、より弟子屈町に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 仕事や就職先の確保	2. 買い物などの日常の利便性
3. イベントの開催等による賑わいの創出	4. バスや鉄道等の公共交通の充実
5. 自然環境の保全・活用	6. 文化・娯楽施設の充実
7. 医療機関の充実	8. 出産・子育て環境の充実
9. 子どもの教育環境の充実	10. 介護など福祉サービスの充実
11. 地震や土砂災害などの防災対策の充実	
12. その他 ( )	

※回答後は、問 16 へお進みください。

問 16 本町は今後も人口が減少していくことが見込まれますが、人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み
2. 空家活用や住宅整備等による、移住や定住を促進する取り組み
3. 結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み
4. 地震や土砂災害等の防災対策による、安全に暮らせるための取り組み
5. 介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み
6. 子どもへの教育等を通じて、郷土愛を育む取り組み
7. その他 ( )

問 17 働く場づくりと雇用の促進に向け、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 企業の誘致による雇用の創出
2. 企業の留置対策 <sup>*1</sup> による雇用の確保
3. 町外ネットワーク（町出身者等）との連携による起業・事業所への弟子屈町のPR
4. 企業や事業所の事業継承支援
5. 農業の活性化による新規就農の促進
6. 林業の活性化による新規就業者の確保
7. 観光促進によるサービス事業者の増加
8. 空家や空き事務所を作業場・事務所として活用することによる就労場所の創出
9. 在宅勤務・サテライトオフィス <sup>*2</sup> に向けた通信環境等に対する支援
10. その他 ( )

<sup>\*1</sup>留置対策：本町で事業活動を続けてもらうための対策（取組み）

<sup>\*2</sup>サテライトオフィス：通信機能を整備し、本社や拠点事務所から離れた場所に設ける事務所

問 18 本町へ移住・U I Jターンを促し、転入者を増加させるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

(Uターンは、本町から他市町村へ移住したあと、再び本町へ戻ること。Iターンは、他市町村から本町へ移住すること。Jターンは出身地から別の市町村へ移住したあと、出身地近くの本町へ移住すること。)

1. 仕事に関する情報サイト\*の設置
2. 暮らしに関する情報サイトの設置
3. 空家・空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置
4. 仕事に関する相談窓口の設置
5. 暮らしに関する相談窓口の設置
6. 空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置
7. 都会での移住・U I Jターンに関する説明会・相談会の開催
8. 移住・U I Jターンに向けた試験的な居住体験の実施
9. 移住・U I Jターン後の支援体制の充実
10. インターンシップ（一定期間、企業で就業経験を積む制度）や就業体験への支援
11. 郷土愛を育む取り組み
12. 保育所やファミリー・サポート（子育て中の家庭が育児のサポートを依頼したいときに利用できるサービス）など働きながら子育てできる環境の整備
13. 町営住宅への優先入居など、子育て世代の住宅支援
14. 介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み
15. その他（ ）

\*情報サイト：情報の掲載されたホームページ等

問 19 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

1. 結婚につながる出会いの場・機会の創出
2. 若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援
3. 仕事と家庭生活のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活のバランス）に向けた環境整備
4. 女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大
5. 出産や子育てに関する相談体制の充実
6. 不妊治療や産前、産後ケアなど妊娠・出産に対する支援
7. 安心して子どもを預けられる環境の整備
8. 多子世帯に対する補助・支援制度の充実
9. 男性も家事や子育てに積極的に参加する意識づくり
10. 地域で子育てを支援する環境や意識づくり
11. いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実
12. 義務教育における学力向上対策
13. 自然・文化・歴史の探訪や地域の人々との交流を深める機会の充実
14. その他（ ）

問 20 あなたは、本町において、結婚に関してどのような支援があればよいと思いますか。特に期待する番号に2つまで○をつけてください。

1. 婚活イベント等出会いづくり	2. 結婚相談・あっせん機能の強化
3. 民間の結婚支援事業の活用優遇	4. 結婚祝金など資金支援
5. 住宅確保などの優遇制度	6. 三世帯居住への優遇制度
7. その他 ( )	

問 21 弟子屈町の生活環境やまちづくり等について「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の46ある項目の「満足度」と「重要度」それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

**【環境】** について

■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ○	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
※回答例（それぞれ1つに○）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 周囲の自然環境と調和する町並み景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 緑化や花いっぱい運動などの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 自然開発におけるルールづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 省資源や省エネルギー化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 新エネルギーなどCO <sub>2</sub> を削減する環境保全の推進と啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【産業活性化について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ○										
8 地域の特産品、お土産などの開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 地域資源などの活用による起業の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 通年雇用型の企業の誘致	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 若者が働ける職場づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 既存企業の育成・振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 地元農産物の販売環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 地域密着型の安心できる商店の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【暮らしについて】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ〇										
21 検（健）診など健康づくり事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 医療費助成の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 高齢者のための健康・生きがいづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 子育てしやすいまちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働（力を出し合い協力すること）推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32 下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35 安全な通行と輸送などのための道路整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 学校施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【教育について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ〇										
40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41 幼児教育施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42 生涯学習機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
44 芸術や文化にふれられる機会の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
45 スポーツ環境の充実や施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



問 22 あなたが持つ、理想とする将来の弟子屈町のイメージはどのようなものですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 湖や河川などの自然に親しめる環境が豊かなうるおいのあるまち
2. 自然環境を活用した観光地や山の幸等を使った特産品がある観光農林業のまち
3. 湖や森林など美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち
4. 健康でスポーツが盛んなまち
5. いつでも自由に学べる生涯学習のまち
6. ボランティア活動、地域活動等が活発な住民自治の進んだまち
7. 安心して子どもを育てられる環境の整ったまち
8. 安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち
9. 商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち
10. 住宅スペースにゆとりがあり、景観や道路等、生活環境が整備された住みよいまち
11. 道路、公園、下水道等の都市基盤が整ったまち
12. 施設等が充実した教育環境のよいまち
13. 災害に強い安全なまち
14. 行政運営やまちづくりに参加しやすいまち
15. その他 ( )

問 23 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を下欄に自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

ご質問は以上です。  
ご協力いただき、大変有り難うございました。

この調査票は、学校で先生に提出してください。



